

2018

BASIC  
*CONCEPT BOOK*

桐生大学附属中学校



# Contents

- ★ **基本ビジョン・教育システム概要**・・・1～6
  - 1. 基本ビジョン
  - 2. 教育システム
  - 特別進学・進学スポーツ 2コース制について
  - 教育の柱
  - 新しい取り組み
- ★ **授業の概要** ・・・7～26
  - 1. 学習システム・・・7～12
    - システム表
    - 朝学習の考え方
    - 通常授業の考え方
    - 講座制授業の考え方
    - テスト・面談・添削指導の考え方
    - 実技教科の考え方
    - 総合学習の考え方
    - 教材についての考え方
    - 校時表
    - 先取学習の考え方
    - テストの概要
  - 2. 6カ年中高一貫カリキュラム・・・13～14
  - 3. 教育課程・・・15～16
  - 4. 各教科の概要・・・17～26
    - 国語で輝く
    - 社会で輝く
    - 数学で輝く
    - 理科で輝く
    - 英語で輝く
    - 保健体育で輝く
    - 音楽で輝く
    - 技術家庭で輝く
    - 美術で輝く
    - 総合学習で輝く
- ★ **こころの教育** ・・・27～29
  - 1. エールシステム『NOTICE』
    - 基本概念
    - システムの概要
  - 2. MBO「C<sup>3</sup>(シー・キューブ)」
    - 基本概念
    - システムの概要
  - 3. 道徳教育
- ★ **進路学習** ・・・30～31
  - 1. ドリカムプラン『K-JET』
    - 基本概念
    - 体験による課題解決型進路プログラム(例)
- ★ **学校生活** ・・・32～39
  - 1. 学校行事
    - 主な学校行事
    - 学校行事の様子
    - 国際交流プログラム
  - 2. クラブ活動
    - 特別進学コース
    - 進学スポーツコース
    - クラブ活動の様子
- ★ **教育成果目標** ・・・40
- ★ **入試関係** ・・・41～47
  - 1. 2018年度中学募集要項(抜粋)
  - 2. 2018年度入試について
    - 推薦入試内容
    - 一般入試内容
- ★ **平成29年度イベント** ・・・48
- ★ **学納金&諸経費** ・・・49
- ★ **高校とのつながり** ・・・49
- ★ **特別進学コース合格実績** ・・・50～54
- ★ **桐生大学附属中学校 Q&A**・・・55～63

# 基本ビジョンと教育システム概要

## 1. 基本ビジョン

### 教育理念

#### 「実学実践」

『知(自ら知り)、考(自ら考え)、行(自ら行い)、確(自ら確かめる)』を行動指針とし、『こころの教育』をもとに、探究心、自立心、自主性、創造性の育成を目的とした教育理念。基礎基本を大切にした体験的、実学的、主体的学習を重視した実践的な教育を目指す。

### 基本方針

#### 『生徒一人ひとりが輝く学校』

- ① 生徒と教職員間の『信頼』を最重視した教育
- ② 『基礎・基盤の確立』をテーマに人間力の醸成を第一義とした教育
- ③ 少人数教育をベースに従来以上に『個』を尊重
- ④ 総合学園としての力を結集
- ⑤ 将来の進路についても責任を持った指導とサポート
- ⑥ 全ての面で安心・安全な学校

#### 『生徒が輝く』

- A 楽しい
  - B 自律している
  - C 心身の健康がケアされる
  - D 豊かな感動体験
  - E 学び合う学級
  - F 地域の誇りとされる
- 「元気に登校し」「自ら学び」「笑顔で帰宅する」

### 教育目標

- ① 『生きる力』をはぐくみ、生命と自然を尊び、平和を愛し、心身ともに健康な人間性豊かな人材を育成する。
- ② 基礎基本を大切にし、探究心を養い、応用力のある幅広い知識と豊かな教養を身につけた人材を育成する。
- ③ 一人一人の個性を尊重してその能力を伸ばし、創造性、自主性、自律性を養うとともに、高い目標をもって、自らの道を自ら切り開いていける人材を育成する。
- ④ 使命感と責任感を培い、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、各分野の人々から信頼を得て、真に社会のリーダーとなり得る人材を育成する。
- ⑤ 日本の伝統・文化を大切にし、理数科学に関心をもち、優れた語学力を身につけ、真に国際社会で活躍できる人材を育成する。
- ⑥ きめ細かな質の高い少人数制教育を実施し、併設型学校の特色を生かして、生徒が希望する進路の実現を積極的に支援する。

### 目指す生徒像

- A 常に実学実践の気概をもち、自らの能力と人生を自らの力で開拓していける生徒
- B 国際社会に生きる日本人として、豊かな人間性と教養と語学力を身につけた生徒
- C 理数分野をはじめとして、様々な社会・分野で活躍できるリーダーを目指す生徒

### 目標とする学校像

- A 個を互いに尊重する学校
- B 自律を支援し為すことにより学ぶ学校
- C チャレンジ心(スピリッツ)を育む学校
- D 人に尽くす心を育む学校
- E 基礎学力を育む学校
- F 学園と地域のネットワークで学習する学校
- G 安心・安全な学校

## 2. 教育システム

### 桐生大学附属中学校 育てる3年間 『こころの教育』 『きめ細かな質の高い少人数教育』

#### 特別進学コース

- 幅広い知識と教養を身につけ、国公立大学・早慶などの難関私立大学合格を目指す。

#### 進学スポーツコース

(男子サッカー)

- 運動部での活躍とともに、国公立大学・有名私立大学合格を目指す。

#### 自立・自律を高める教育

##### ●ドリカムプラン「K-JET」

「為すことによって学ぶ」体験型進路学習プログラム

中学3年間を人間形成の時期と考え、生徒の自立・自律を高めながら、さまざまな体験を通じて自分の未来(進路)につなげる。

- A 安心できる仲間と一緒に様々な体験をする
- B 様々な人の経験や考えに接する
- C 自分たちで考えてやってみて、たくさんの失敗体験と成功体験を得る
- D 体験を通じての学びと学校での学習につなげる
- E 前向きに学校生活に臨むやる気と勇気を生む

探究心

自立心

自主性

創造性

の

育成

体験的

実学的

主体的

学習

#### 個を互いに尊重する教育

##### ●エールシステム「NOTICE」

『生徒のプラス行動を伸ばす』システム

生徒のプラス面での変化に気づく

先生全員で意識的に見ることで見発見

応援していることを本人にフィードバック

##### ●MBO「C<sup>3</sup> (シー=キューブ)」

他者貢献の心と自律を育むプログラム

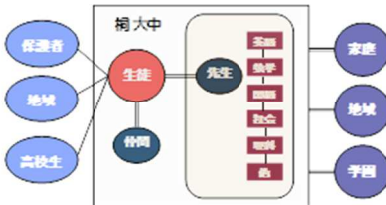
チームを作る → テーマを設定する

評価する → 目標を設定する

成果をまとめる ← 行動プランを考える

#### ネットワークを生かした教育

- A 総合学園としての教育資源を十分活用する
- B 地域社会との共存に取り組む学校づくりを行う
- C 地域で子どもの可能性を最も伸ばす教育を行う



#### 基礎学力を育む教育

- A 効率的な授業
- B 授業を支える教師の授業研究
- C 基礎学力の定着を図る通常授業
- D 集中力と語学力を高める朝の学習
- E 講座制による放課後・土曜日学習
- F テスト・面談・添削指導の徹底
- G 論理的思考力の養成

### 桐生第一高等学校 鍛える3年間 『生徒が希望する進路の実現』

#### 特別進学コース

- 国公立大学・早慶など難関私立大学合格を目指す
1. 英検準1級・TOEIC、数学オリンピックなど資格・各種コンクールに挑戦する。
  2. 中学3年間で深く学習した利点を生かし、幅広い知識と教養を身につけ希望の進路実現を目指す。

#### 進学スポーツコース

- 運動部での活躍とともに、国公立大学・有名私大合格を目指す。
1. 運動部(強化指定クラブ)に所属し全国大会出場を目指す。
  2. 文武両道を心掛け、6カ年継続した一貫教育の利点を生かし、大学合格を果たす。

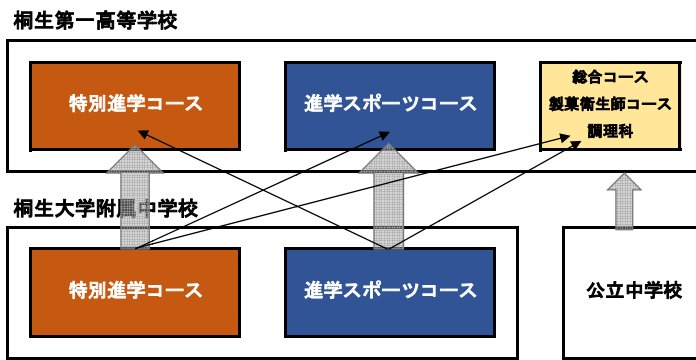
#### 総合コース

#### 製菓衛生師コース 調理科

- 桐生第一高校  
他コースへの進  
学も条件よって  
は可能。

## ○ 特別進学コース 進学スポーツコース 2コース制について

平成 29 年度より、特別進学コースと進学スポーツコースの 2 コース制により運営をしていきます。



※大学進学とその先の将来を見据えた進路指導をしていきます。中学特別進学コースは高校特別進学コース、中学進学スポーツコースは高校進学スポーツコースへの内部進学が原則ですが、本人の適性を考え、内部(他コース)・外部を含めて、幅広い進路指導を行います。

特別進学コースでは、幅広い知識と教養を身につけ、さらに併設校の桐生第一高校特別進学コースに内部進学することで6カ年一貫教育の利点を生かし、国公立大学・難関私立大学への進学を目指します。

### 〈特別進学コースの過去の実績〉

国公立大学合格率 約 60%(過去 5 年)

#### 【国公立大学】

北海道大学 東北大学 筑波大学 お茶ノ水女子大学 東京外国語大学 東京学芸大学 東京農工大学 千葉大学  
横浜国立大学 大阪大学 金沢大学 群馬大学 高崎経済大学 県立女子大学 県民健康科学大学 他

#### 【私立大学】

早稲田大学 慶應大学 上智大学 東京理科大学 明治大学 青山学院大学 立教大学 中央大学 法政大学  
学習院大学 立命館大学 同志社大学 他

進学スポーツコース(男子サッカー)では、「スポーツ」と「勉強」の両立をしながら、中学・高校ともに全国大会出場と頂点を目指します。さらに併設校の桐生第一高校進学スポーツコースに内部進学することで6カ年一貫教育の利点を生かし、国公立大学・MARCH クラスの有名私立大学進学を目指します。

### 〈進学スポーツコース(サッカー) 過去の実績〉

平成21年 プリンスリーグ関東2009・2部 12位  
全国高等学校総合体育大会群馬県予選 準優勝

平成22年 群馬県新人大会 優勝  
全国高校サッカー選手権大会群馬県予選 準優勝

平成23年 プリンスリーグ関東2011・2部 13位  
群馬県高等学校総合体育大会 優勝  
関東大会出場 ベスト8  
全国高校サッカー選手権大会群馬県予選 優勝  
全国高校サッカー選手権大会 ベスト8

平成24年 群馬県新人大会 優勝  
全国高校サッカー選手権大会群馬県予選 準優勝

平成25年 群馬県高等学校総合体育大会 準優勝 関東大会出場  
全国高等学校総合体育大会群馬県予選 準優勝  
全国高校サッカー選手権大会群馬県予選 優勝  
全国高校サッカー選手権大会出場

平成27年 群馬県新人大会 優勝  
群馬県高等学校総合体育大会 準優勝 関東大会出場  
全国高等学校総合体育大会群馬県予選 優勝  
全国高等学校総合体育大会出場

### 小林勉 総監督 の略歴

1986年 前橋ジュニア 創設

1997年 前橋ジュニアユース 創設

2002年 桐生第一高等学校総監督就任

2011年 全国高校サッカー選手権大会初出場ベスト8

2017年 桐生大学附属中学校監督就任

★日本サッカー協会 A級ライセンス取得

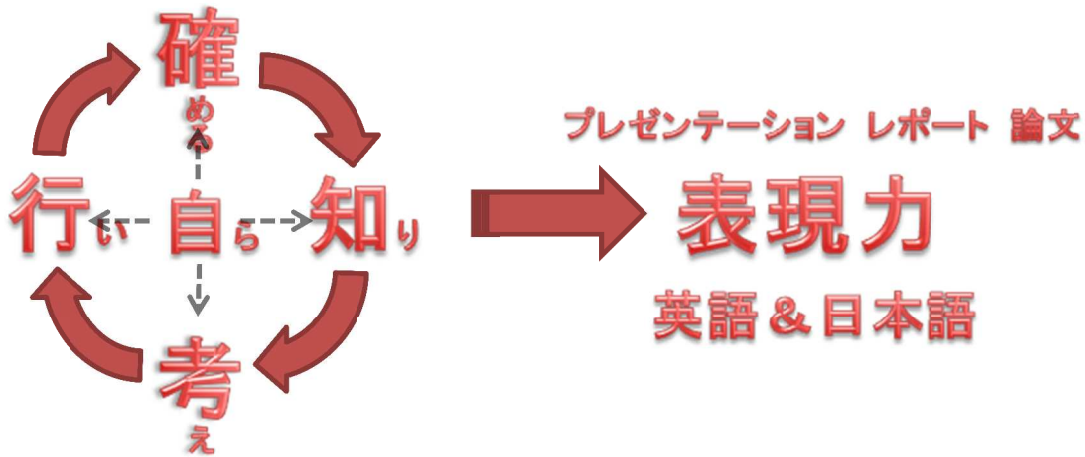
★プロ選手を多数輩出

- ・細貝 萌 現ヘルタ・ベルリン
- ・青木 剛 鹿島アントラーズ
- ・鈴木武蔵 アルビレックス新潟

## ○教育の柱

教員は次のサイクルを意識しながら、すべての教育活動を行っています。

「生きる力」を育むために、知(自ら知り)考(自ら考え)行(自ら行い)確(自ら確かめる)の過程を大切にして、表現(プレゼンテーション・レポート・論文など)するまでを「1サイクル」と考えて、あらゆる場面でこのサイクルを実行することを心掛けています。さらに、この表現(アウトプット)は日本語と英語で行うことに挑戦します。



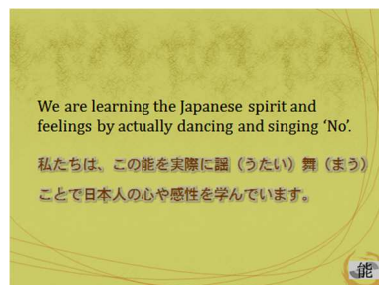
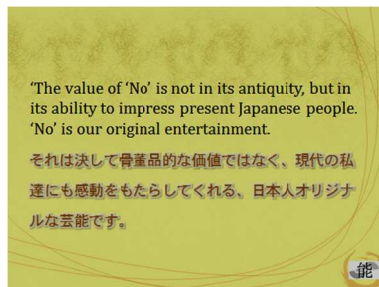
### 実践例1

日本の伝統文化「能」授業

「自ら行い、自ら確かめる授業」



「日本語と英語で、表現します。」

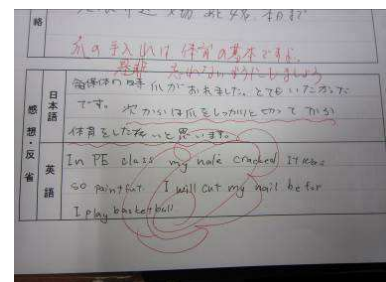


### 実践例2

日本語と英語の学級日誌

日々の学級日誌は日本語と英語で感想を書くという取り組みをしています。

#### 中1 学級日誌



### 実践例3

中3 公民授業 「日本の文化を外国に紹介しよう！」

英語科とのコラボ授業でグループごとに、3年間で学習した文化に関する事項を自ら調べ考えて、日本語と英語で発表します。ALTの先生が評価をします。



## ○新しい取り組み

### ★『対話力』『考える力』『国際対応力』

本校は21世紀型先進教育を目指しています。教育の柱である『知考行確+表現』を實踐して、『対話力』『考える力』『国際対応力』の3つ力を身に付けていくことが、これからの時代を生き抜くためには大切と考えています。そのために、3つの新しい教育プログラムを用意しました。

#### 1. クエスエデュケーションプログラム（詳しくは P31 ページ）

探究という学び、クエストエデュケーション。全国 96 校約 1 万 3 千人の中高生が、実在の企業や先人を題材に答えのない課題に取り組む「クエストエデュケーション」。仲間と共に話し合い、考え抜き、生み出した探求の成果を、企業の方たちに対して、パワーポイント・原稿・動画を作成して企画案を提出します。約 2 千チームから選ばれた代表 60 チームが全国大会に出場することができます。

平成 28 年度導入、初年度全国大会出場を果たしました。次なる目標は、全国 6 代表に選ばれること、つまり企業賞を受賞することです。



#### 2. エンパワーメントプログラム

将来の日本、さらに言えばこれからの世界を担う潜在能力の高い日本の若者を対象に、欧米の一流大学に学ぶ大学生・大学院生とのプロジェクトやディスカッションを通じて刺激を受け、異文化理解力、英語力の更なる必要性に気づかせ、日本人とは何か、自己とは何かを考える機会を理屈や知識で教えるのではなく体験・体感させることにより理解させることを目的とした短期国内研修です。本校では通常高校生が行うこのプログラムをプレエンパワーメントプログラムとして 2 年生、3 年生で 2 年連続実施します。



#### 3. 中期留学プログラム

中高一貫校の利点を生かし、中 3 の 3 学期に 3 か月間、ニュージーランドへの中期留学ができるようにしました。希望者による実施です。中学で学ぶ内容は、12 月に終了するので安心して、海外研修に参加することができます。短期留学では英語力向上はあまり期待できませんが、中期留学であれば英語力の向上にかなり期待ができます。また、異文化に触れることで、国際感覚をしっかりと身に付け、視野を大きく広げることができるでしょう。



## ★ ICT 教育

私たちの考える教育を生徒たちが十分に受けられるようにするための一つのツールとして、ICT の整備が必要不可欠になってきています。日進月歩の ICT 教育ですので、常にアンテナを張り、ハード面・ソフト面の整備並びに教員スキルの向上に努めていきます。

### 1. 校内無線 LAN の完備

本校(西桐生キャンパス)全館に無線 LAN が完備されています。端末さえあれば、どこでもインターネットに接続できる環境が整っています。今後、順次端末の整備を進めていく予定です。

### 2. 固定式プロジェクターの完備

中学の普通教室には固定式プロジェクターが完備されています。PC とつなぐことで、デジタル教科書による授業・動画配信・インターネットによる必要な資料の提示などが普通教室で行えるようになっていきます。

### 3. デジタル教材の導入

現在は、英語においてデジタル教科書を採用しています。今後は、必要と判断した教科において、デジタル教科書を導入します。また、社会科と国語科では副教材において一部デジタル教材を活用しています。各教科の先生方は、オリジナル教材を PDF ファイルにして、下記、G-suite クラウド上のマイドライブに保存するなどして活用するよう共通認識をしています。

### 4. G-suite for Educatrion の導入

Google が提供する教育プログラム『G-suite for Educatrion』を導入しました。本校では、google に申請をして、指定のドメインの承認を得ることで、教員と生徒は各自アカウントとパスワードを設定できるようになりました。現在、classroom の機能で、各先生方が、自分の授業(class)の生徒たちを招待して、「課題を与える」「課題を提出する」などを実践しています。ドキュメント・スプレッドシート・スライドを活用して、プレゼンテーション・論文の作成などが行えます。



### 5. 教員研修の実施

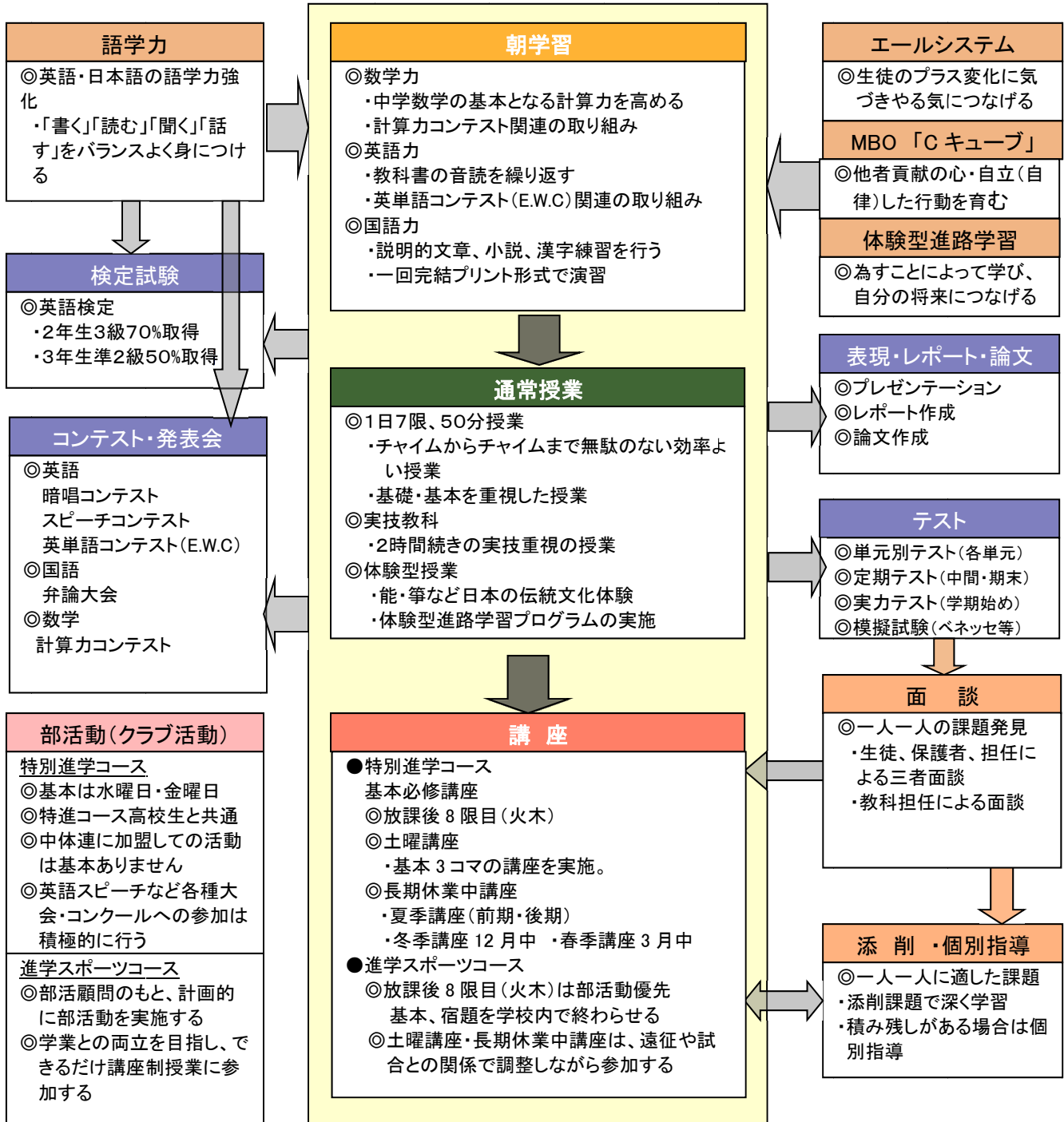
端末の扱い方・ソフトの使い方などの教員研修を定期的に行っています。授業中における教員の ICT スキルは、日々研鑽していきます。

# 授業の概要

## 1. 学習システム

『生徒一人ひとりを大切にする教育』を、より具体的な形・よりわかりやすいシステムで具現化していくことが基本ビジョンにあります。したがって、授業においても関連性を重視し教師が連携しやすい学習システムを構築していくことが大切であると考えています。以下に説明するシステムは常に見直し、一人ひとりの生徒の状況に合ったシステムへと見直していくものとします。

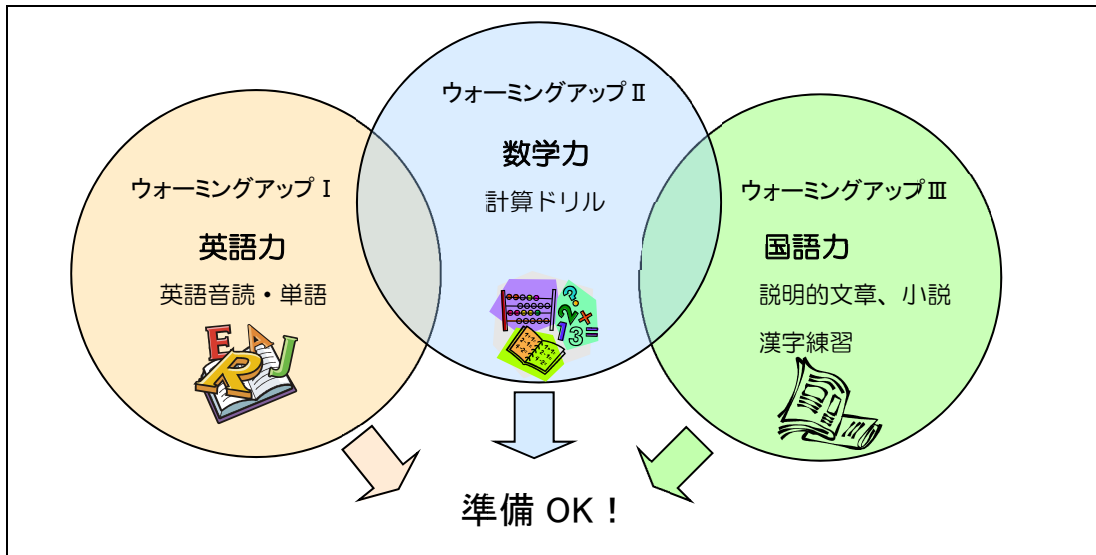
### ○ システム表



## ○ 朝学習の考え方

「朝学習」は、一日の始まりのウォーミングアップの時間帯と考えます。英語音読、計算ドリル、漢字練習などを毎日行います。授業が始まる前に「読み」「書き」「そろばん」を行うことにより、基礎基本を身につけます。また、それぞれのウォーミングアップで英語力、数学力、国語力を養いたいと考えています。

朝学習のイメージ



### 計算ドリル

決められた時間の中で単純な問題を数多く解いたり、解き方を発表し合ったりすることにより、脳の活性化を図ります。それにより授業への集中力を高めます。また、計算の結果を毎日記録することにより、生徒自身が日々の成長を実感でき、レベルアップへの意欲を高めます。各学期に一度、計算力コンテストを実施し、計算力を競い合い、共に向上していくことを目標にします。

### 英語音読・英単語力

扱う材料は既習の教科書の本文や基本文です。一度学習した英文の音読を毎朝繰り返すことによって記憶を確かなものにします。音読を続けることにより、英文の意味を日本語に置き換えることなく英文のまま理解できるようになり、初めて見る英文も速く正確に読めるようになります。音読の他に、学習した英文を使って歌を歌ったり、体を動かしたり簡単なアクティビティをします。英単語テスト(E.W.C)に関する取り組みも行います。



### 基本的国語力の強化

説明的文章、小説、漢字の各分野について1回ごとに完結するプリント教材を使った演習をします。テスト形式に慣れるため時間を計って問題を解き、答え合わせと見直しまで短時間で集中して行います。

※ 朝学習の内容と時間配分は段階を踏みながら変化させます

○ 通常授業の考え方

一単位時間は50分です。発達段階に合わせてゆとりをもたせて授業を行います。実技教科については体験型学習を重視することから2時間続きの100分授業を基本とします。

基礎基本を大切にすることから、通常授業は教科書・準拠教材を積極的に活用していきます。中学校教科書の範囲は3年生の12月を目安に終了します。以降は中学校で学ぶべきことを完全にマスターできるまでトレーニングをするとともに、思考力や表現力を重視して高校の内容を意識した学習へと移行していきます。

○ 講座制授業の考え方

土曜日・放課後の講座は60分、長期休業中は60分～80分が基本です。通常の授業とは違うさまざまな講座を設定して、知識の定着や深い理解・幅広い教養を身につけさせることを目的としています。平日は週2回程度放課後に各1コマ(特別進学コース)、土曜日は基本的に2～3コマ用意して、実施していきます。また、平日の週1回1コマ、土曜日の放課後などを個別指導の時間とし、個々の状況に応じて学習できるようにします。

『外部講師による講座』

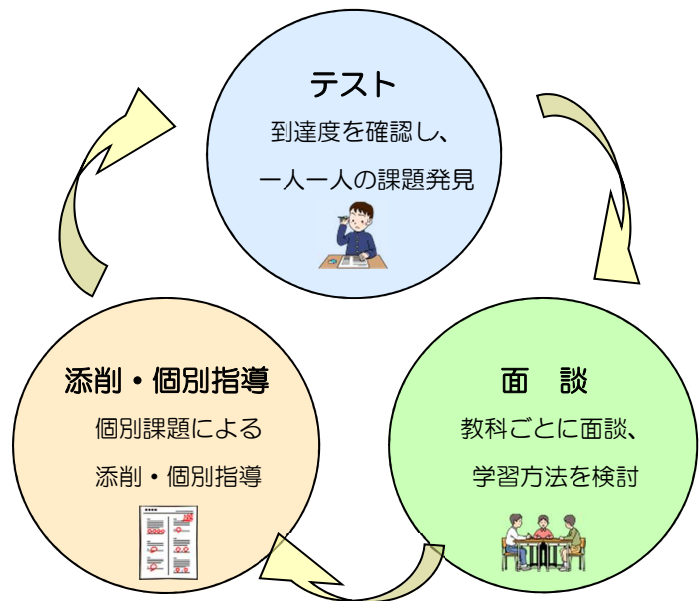


※平成29年度入学生からは、週30時間の教育課程となりますが、月曜日～金曜日は7限授業(週35時間分の授業時間の確保)を実施していきます。本校独自の多様な教育プログラムを臨機応変に組み込む予定です。

○ テスト・面談・添削指導の考え方

各種テストの結果を踏まえて、本人や保護者との面談を実施します。一人一人の課題を発見して、学習方法を検討します。個人カルテを活用して記録をとり本人の変化に『気づく』ようにしていきます。

面談により、深い学習(発展学習)ができる生徒は、プリントなどで添削指導を行います。基本の学習が必要な場合はマンツーマンによる個別指導を行います。



○ 実技教科の考え方

美術・技術家庭は2コマ続きの100分授業を基本と考えます。体験型授業を中心としたカリキュラムです。1, 2年次に音楽で箏を取り入れています。1年生は2コマ続きの100分で、2年生は1コマの50分で箏の授業を行います。また、2, 3年次に、日本の伝統芸能である『能』を学びます。

## ○ 総合学習の考え方

進路学習プログラム『ドリカムプラン「K-JET」』を中心に総合学習を組み立てます。

中学3年間を人間形成の時期と考え、生徒の自立・自律を高めながら、さまざまな体験を通じて自分の未来(進路)につなげます。また、様々な人の経験や考えに接することにより未来への可能性を広げたいと考えています。

### 進路学習プログラムの視点

- A 安心できる仲間と一緒に様々な体験をする。
- B 様々な人の経験や考えに接する。
- C 自分たちで考えてやってみて、たくさんの失敗体験と成功体験を得る。
- D 体験を通じての学びと学校での学習につなげる。
- E 前向きに学校生活に臨むやる気と勇気を生む。

### 実践例1)日経 STOCK リーグに挑戦

1. バーチャルではあるがリアリティのある株式投資を体験する中で、経済・金融の他の関連する様々な分野に興味を持ち、主体的に学ぶ意欲を喚起します。
2. チームで共通の課題に取り組むことで、仲間同士でコミュニケーション力やチームワーク力を養うことができます。
3. 株価や企業の業績、経済、金融をめぐる内外の動向などに関する情報収集や分析を行う活動を通して、パソコンやインターネットなどの利用方法を実践的に学ぶことができます。
4. 学習のプロセスと成果をレポートにまとめる活動を通して、表現力や発信力を図ることができます。

### 実践例2)教育と探究社主催クエストに挑戦

#### 「生きる力」を育むプログラム

1. 実在の企業を題材に、リアルな学習テーマに取り組みながら自ら感じ、考え、表現していく学習スタイルを実践していきます。
2. チームでの活動を通して、社会や経済、働くことの意義についての理解を深め自律的な学習姿勢と豊かな創造力を育みます。
3. 優秀なチームは、法政大学市ヶ谷キャンパスで全国大会に出場します。

## ○ 教材についての考え方

1. 教員の力量を高めるためオリジナル教材の開発を推進します。
2. 通常授業では、標準的な教科書・準拠教材を基礎基本重視の観点で積極的活用します。
3. 講座では、それぞれの講座で独自の教材を活用します。

○ 校時表（中学）

通常(月～金)

月～金	時間
朝学習	8:15～8:30
登校時間	8:30
SHR	8:30～8:40
清掃	8:40～8:55
1 限	9:00～9:50
2 限	10:00～10:50
3 限	11:00～11:50
4 限	12:00～12:50
昼休み	12:50～13:40
5 限	13:40～14:30
6 限	14:40～15:30
7 限	15:40～16:30
終礼	16:35～16:45
講座/クラブ	16:50～

短縮(月～金)

月～金	時間
朝学習	8:15～8:30
登校時間	8:30
SHR	8:30～8:40
清掃	8:40～8:55
1 限	9:00～9:40
2 限	9:50～10:30
3 限	10:40～11:20
4 限	11:30～12:10
昼休み	12:10～13:00
5 限	13:00～13:40
6 限	13:50～14:30
7 限	14:40～15:20
終礼	15:25～15:35
講座/クラブ	15:40～

土曜講座（基本形）

土曜日	時間
登校	8:15
講座①	8:15～9:15
講座②	9:25～10:25
講座③	10:35～11:35
終礼	11:45～11:55

※登校時間は、朝学習を行っているため、実際には 8:15 となります。

### ○ 先取り学習の考え方

私たちは先取り学習を深掘学習と考えています。高校・大学・社会人になっても通用する『幅広い知識と教養教育』という観点で先取り学習を組み立てます。その内容には本来高校で学ぶ内容が含まれてきます。

例えば英語教育や国語教育においては、読むこと・話すこと・聞くこと・書くことをバランス良く行います。桐生大学附属中学では、教科書は学習の基本線と考えますが、語学力に関しては国語科を中心として枠にとられない本物の語学力を身につけさせます。そのために音読を重視し新聞を活用した学習や英語副読本による多読を積極的に進めます。優れた語学力を養うことは教育目標の一つであり、国語や英語に必要な語彙力などについては重点的に先取り学習をします。

また、理数教育においては、常に理数科学への関心を高める働きかけを行っていきます。実践教育として繰り返し学習やレポート作成、論述などを行い知識・技術の向上につなげていくとともに、全ての生徒に理数系の論理構成、思考力を根づかせたいと考えます。

### ○ テストの概要(2年の場合)

	定期	実力	模擬・検定	単元
4月	中間	実力①	ベネッセ模試	各教科 随時
5月				
6月				
7月	期末	実力②	英検	
8月			数検	
9月				
10月	中間	実力③	英検	
11月			ベネッセ模試	
12月			G-TEC	
1月	学年末	実力③	英検	
2月			ベネッセ模試	
3月			数検	

2. 6カ年中高一貫カリキュラム（特別進学コースの場合） ※進学スポーツコースの教育課程表は別途

		桐生大学附属中学校									
		1 学 年			2 学 年			3 学 年			
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
国 語	授 業 (教科書)	1 学 年			2 学 年			3 学 年			中学 復習
	講 座 (希望) (必修) (指名)					基礎+単元別演習			高校講座		
社 会	授 業 (教科書)	歴 史			地 理			公 民			中学 復習
	講 座 (希望) (必修) (指名)	テーマ別講座									
数 学	授 業 (教科書)	1 学 年			2 学 年			3 学 年			中学 復習
	講 座 (希望)	小学校の復習									高校講座
	講 座 (必修) (指名)	単元別復習講座			発展講座						
理 科	授 業 (教科書)	1 学 年			2 学 年			3 学 年			中学 復習
	講 座 (希望)	単元別演習講座									
	講 座 (必修) (指名)	実験・観察講座									
外 国 語	授 業 (教科書)	1 学 年			2 学 年			3 学 年			中学 復習
	講 座 (希望)	単元別演習講座						高校講座			
	講 座 (必修) (指名)	英検対策講座									



桐生第一高等学校（特別進学コース）													
1 学 年			2 学 年			3 学 年							
1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期					
1 学 年			文系 2・3学年			受験対策			(教科書)	授 業	国 語		
			理系 2・3学年			受験対策			(希望)	講 座			
			応用+単元別演習			センター対策			(必修)				
						国立大2次・私大対策			(個別)				
文理 世界史A・現代社会			文系 日本史B/世界史B			受験対策			(教科書)	授 業	地 歴 公 民		
			文理 地理A	文理 政経/倫理/地理		受験対策			(希望)	講 座			
			文系 夏季/冬季 日本史/世界史			センター対策			(必修)				
			論述対策(地歴)						(個別)				
数Ⅰ・A (習熟度)		数Ⅱ・B (習熟度)		理系 数Ⅲ		受験対策			(教科書)	授 業	数 学		
				文系 数学探求		受験対策			(希望)	講 座			
				授業&演習(スピード&実力養成)			センター対策					(必修)	
						国立大2次・私大対策			(個別)				
化学基礎		理 物理基礎		理 化学、物理 or 生物			受験対策			(教科書)	授 業	理 科	
生物基礎		文 科学と人間生活		文 理科探求			受験対策			(希望)	講 座		
			単元別演習			センター対策			(必修)				
						国公立2次対策			(個別)				
1 学 年 (習熟度)		2 学 年 (習熟度)		3 学 年 (習熟度)		受験対策			(教科書)	授 業	外 国 語		
				長文演習		センター対策			(希望)	講 座			
		文法・構文演習					国立大2次・私大対策					(必修)	
			英検対策						(個別)				

### 3. 教育課程

#### 【中学校教育課程】

1授業時間数は50分授業を基本とします。

☆ 2時間続きの100分授業が基本。

★ 関連性を重視し、年間計画に合わせたカリキュラム編成。

教育課程表(中学1年)

教科	1年	2年	3年
国語	4	4	4
社会	3	3	4
数学	4	4	4
理科	3	4	4
音楽	1.3	1	1
美術	☆1.3	☆1	1
保健体育	3	3	3
技術家庭	☆2	☆2	1
外国語	5	4	4
道徳	★1	★1	★1
総合学習	★1.4	★2	★2
特別活動	★1	★1	★1
合計	30	30	30

教育課程表(中学2、3年)

教科	1年	2年	3年
国語	5	5	5
社会	4	4	4
数学	5	5	5
理科	4	4	5
音楽	1.3	1	1
美術	☆1.3	☆1	1
保健体育	3	3	3
技術家庭	☆2	☆2	1
外国語	5	5	5
道徳	★1	★1	★1
総合学習	★1.4	★2	★2
選択	1	1	1
特別活動	★1	★1	★1
合計	35	35	35

#### ○カリキュラムマネジメントの工夫

平成29年度より、週35時間→週30時間に教育課程を変更しました。

下記、時間割の通り、朝学習から始まり1日7時間授業は変わりません。ただ、7限にある教科のコマは、通常は旧教育課程と同じ時間数で授業を行い、進度を速め深く学習しますが、教科横断的な活動や本校独自の教育活動を行う時に、機動性を高めて柔軟に変形できるようにしました。

中学時間割(特別進学コース)

	時間	月	火	水	木	金	土
朝学習	8:15~8:30	数学	自習	英語	自習	国語	
登校時間	8:30	点呼					
SHR	8:30~8:40	朝の連絡					
清掃	8:40~8:55	清掃活動					
1限	9:00~9:50	特活	国語	英語	道徳	数学	講座
2限	10:00~10:50	総合	物地	保体	国語	国語	
3限	11:00~11:50	美術/技術	歴史	歴史	化生	保体	
4限	12:00~12:50	美術/技術	数学	数学	英語	音楽/筆	
昼休み	12:50~13:40	昼食					
5限	13:40~14:30	数学	英語	国語	音楽	英語	
6限	14:40~15:30	英語	保体	音楽	物地	地理	
7限	15:40~16:30	国語	化生	地理	数学	英語	
講座/クラブ	16:50~17:50	個別	講座	クラブ活動	講座	クラブ活動	

中学時間割(進学スポーツコース)

	時間	月	火	水	木	金	土
朝学習	8:15~8:30	数学	自習	英語	自習	国語	
登校時間	8:30	点呼					
SHR	8:30~8:40	朝の連絡					
清掃	8:40~8:55	清掃活動					
1限	9:00~9:50	特活	国語	英語	道徳	数学	講座/部活
2限	10:00~10:50	総合	物地	保体	国語	国語	
3限	11:00~11:50	美術/技術	歴史	歴史	化生	保体	
4限	12:00~12:50	美術/技術	数学	数学	英語	音楽/筆	
昼休み	12:50~13:40	昼食					
5限	13:40~14:30	数学	英語	国語	音楽	英語	
6限	14:40~15:30	英語	保体	音楽	物地	地理	
7限	15:40~16:30	国語	化生	地理	数学	英語	
自習/部活	宿題完結後部活	部活	部活	部活	部活	部活	

※英語は英会話授業などを含む

【高等学校教育課程】

学習指導要領の改訂と大学入試制度(特に大学入試センター試験)の変更があるため、教育課程表は変わります。

教科	科目	特別進学コース				
		1年	2年		3年	
			文	理	文	理
国語	国語総合	5				
	現代文B		2	2	2	2
	古典B		2	2	2	2
	日本語探求		1	1	2	0
地理歴史	世界史A	2				
	世界史B		④			
	日本史B		④			
	地理A		2	2		
	地理B				④	
	世界史探求				④	
	日本史探求				④	
	地理探求					②
公民	現代社会	2				
	倫理				②	
	政治・経済				②	
	公民探求					②
数学	数学Ⅰ	4				
	数学Ⅱ	1	4	4		
	数学Ⅲ			1		5
	数学A	2				
	数学B		2	2		
	数学探求A					3
	数学探求B		1		3	
理科	科学と人間生活		2			
	物理基礎			2		
	物理			②		④
	化学基礎	2				
	化学			2		4
	生物基礎	2				
	生物			②		④
	理科探求A					2
	理科探求B					2
保健	体育	2	3	3	2	2
保健	保健	1	1	1		
芸術	音楽Ⅰ					
	美術Ⅰ		②	②		
	書道Ⅰ					
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	4				
	コミュニケーション英語Ⅱ		4	4		
	コミュニケーション英語Ⅲ				5	5
	英語表現Ⅰ	2				
	英語表現Ⅱ		2	2	2	2
	現代英語				1	
家庭	家庭基礎	2				
情報	社会と情報	2				
	総合的な学習	1	2	2	0	0
	選択科目の計					
	小計	34	34	34	31	31
	ホームルーム	1	1	1	1	1
	合計	35	35	35	32	32

教科	科目	進学スポーツコース				
		1年	2年		3年	
			文	理	文	理
国語	国語総合	4				
	現代文B		2	2	2	2
	古典B		2	2	2	1
	日本語探求					
地理歴史	世界史A		2	2		
	世界史B					
	日本史B		3			
	地理A					2
	地理B					
	世界史探求					
	日本史探求					3
	地理探求					
公民	現代社会	2				
	倫理					
	政治・経済					
	公民探求					
数学	数学Ⅰ	3				
	数学Ⅱ		3	3		
	数学Ⅲ					4
	数学A	2				
	数学B			2	2	
	数学探求A					1
	数学探求B					
理科	科学と人間生活					2
	物理基礎			2		
	物理					3
	化学基礎	2				
	化学					3
	生物基礎		2	2		
	生物					3
	理科探求A					
	理科探求B					
保健	体育	3	2	2	2	2
保健	保健	1	1	1		
芸術	音楽Ⅰ					
	美術Ⅰ				2	2
	書道Ⅰ					
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	4				
	コミュニケーション英語Ⅱ		3	3		
	コミュニケーション英語Ⅲ					3
	英語表現Ⅰ	2				
	英語表現Ⅱ		2	1	2	2
	現代英語					
家庭	家庭基礎		2	2		
情報	社会と情報				2	2
	総合的な学習	1			2	2
体育	スポーツ概論	1	1	1		
	選択実技Ⅰ	4				
	選択実技Ⅱ		4	4		
	選択実技Ⅲ				4	4
	選択科目の計				3	3
	小計	29	29	29	29	29
	ホームルーム	1	1	1	1	1
	合計	30	30	30	30	30

#### 4. 各教科の概要

### 国語で輝く

#### 【学習進度】

中学1年		中学2年		中学3年	
通常授業	講座制授業	通常授業	講座制授業	通常授業	講座制授業
1学期 ◎詩 ◎説明的文章 ◎文学的文章 2学期 ◎説明的文章 ◎古典 ◎文学的文章 3学期 ◎文学的文章 全学期 ◎書写	◎単元別確認講座 ◎文法確認講座 ◎文章表現力講座	1学期 ◎詩 ◎説明的文章 ◎短歌・俳句 2学期 ◎文学的文章 ◎古典 ◎説明的文章 3学期 ◎文学的文章 全学期 ◎書写	◎単元別確認講座 ◎文法確認講座	1学期 ◎説明的文章 ◎古典 ◎文学的文章 ◎書写	◎文法確認講座 ◎実践問題演習講座
				1月以降	
				通常授業	講座制授業
				◎説明的文章読解 ◎小説読解 ◎語彙力強化	◎説明的文章 ◎文学的文章

#### 【成果目標】

論理的思考力(考える力)の育成と、論理的な思考を展開していく上で必要な情緒力(感じる力、想像する力)の育成を目標とします。また自分の意見を発信するツールとしての語彙力の強化も行います。

#### 【通常授業のすすめ方】

教科書中心で文章の読解・鑑賞・漢字学習を行います。グループの形態で内容についてディスカッションを行い模造紙にまとめて発表もします。教科書の単元の終了後は、類似テーマの問題演習を行います。

3年生12月頃に教科書の内容を終了し、以降は問題演習中心となります。

書写は、基本的な点画の習得から、楷書と行書の作品制作、展覧会へ向けての作品制作を行います。

#### 【講座制授業のすすめ方】

◎ 説明的文章の問題演習を中心に取り組み、論理的思考力を高めます。また、語彙力の強化を行います。

◎ 記述問題に対応できる力をつけるために、添削を行います。

◎ 3年生の1月以降は、説明的文章、小説の読解と語彙力の強化を行います。



新聞を活用した学習

#### 【使用教材(予定)】

教科書 国語(光村図書) 新しい書写(東京書籍)

資料集 国語の便覧(正進社)

副教材 光村の国語のワーク(光村教育図書) 学習漢字ノート(浜島書店)

イラスト国語文法(光村教育図書) 中学国語記述問題集(育伸社)



弁論大会 東毛地区大会  
最優秀賞受賞

## 社会で輝く

### 【学習進度】

中学1年		中学2年		中学3年	
通常授業		通常授業		通常授業	
地理	歴史	地理	歴史	公民	
◎地球のすがた ◎世界のすがたと様々な地域 ◎日本のすがたと様々な地域 ◎身近な地域の調査 ◎都道府県の調査 ◎世界の国々の調査	◎歴史の流れ ◎身近な地域の歴史 ◎古代までの日本 ◎中世の日本 ◎近世の日本	◎さまざまな面から見た日本 ◎さまざまな視点から見た日本	◎開国と近代日本の歩み ◎二度の世界大戦と日本 ◎現代の日本と世界	◎現代の民主政治と社会 ◎わたしたちの暮らしと経済 ◎地球社会とわたしたち	
		<b>公民</b>	<b>地理・歴史復習</b>	<b>1月以降</b>	
		◎現代社会とわたしたちの生活 ◎人間の尊重と日本国憲法	◎1、2年の復習	<b>通常授業</b>	<b>講座制授業</b>
<b>講座制授業</b>		<b>講座制授業</b>		『高校世界史高校地理のために』 地理的感覚と思考力に重点を置く。 ‘日本の伝統文化’	◎問題演習で積み残しゼロ ◎アウトプット中心で思考力・表現力を養成
◎単元ごとに復習講座 ◎テーマ学習		◎単元ごとに復習講座 ◎テーマ学習			

### 【成果目標】

風はなぜ吹くのでしょうか？漁場はどんな場所につくられるのでしょうか？日本海側ではなぜ冬に雪が多く降るのでしょうか？これらの問いに記述で答えられる力をみにつけます。

- ◎ 歴史年表を作成して、歴史の流れが記述できる。
- ◎ 世界の国名・都市・自然環境、日本の都道府県・都市・自然環境を地図上で理解している。
- ◎ 地理・歴史・公民分野の授業が終了したのち、アクティブラーニングにより‘日本の伝統文化を外国に伝えよう’をプレゼンテーションする。

### 【通常授業のすすめ方】

1・2年では地理・歴史を並行して進めます。3年生では12月まで公民分野を進めます。  
3年1月以降は、地理・歴史・公民の総復習とテーマを決めて論文かプレゼンを実施します。

### 【講座制授業のすすめ方】

- ◎ テーマ学習を行う場合は講座制を活用します。

### 【使用教材(予定)】

- 教科書 地理(東京書籍) 歴史(東京書籍) 公民(東京書籍)  
 資料集 学び考える歴史(浜島書店) 最新地理資料集(明治図書)  
 公民の資料(正進社)  
 新編 中学校社会科地図初訂版(帝国書院)  
 副教材 SIRIUS 社会  
 オリジナルプリント



桐生織物 実地調査

## 数学で輝く

### 【学習進度】

中学1年		中学2年		中学3年	
通常授業	講座制授業	通常授業	講座制授業	通常授業	講座制授業
◎正負の数 ◎文字と式 ◎方程式 ◎比例と反比例 ◎平面図形 ◎空間図形 ◎資料の分布と活用 ◎式の計算	※各単元終了後に復習講座を開講	◎連立方程式 ◎1次関数 ◎平行と合同 ◎三角形と四角形 ◎確率 ◎多項式 ◎平方根	※各単元終了後に復習講座を開講	◎2次方程式 ◎関数 $y=ax^2$ ◎相似な図形 ◎円 ◎三平方の定理 ◎標本調査	※各単元終了後に復習講座を開講
				1月以降	
				通常授業	講座制授業
				<b>実力養成期間</b> ※総合問題演習を行い、実力を養成するとともに弱点を克服する。	◎整式 ◎実数 ◎方程式と不等式 ◎2次関数

### 【成果目標】

- ◎ 数学的なものの見方、考え方を養います。数学の大切さに気づき、論理性を身につけます。論理は言語力とも関連します。数学力と言語力の両輪で真の思考力を身につけます。
- ◎ 学校の定期考査・実力試験・模擬試験では得点率60%を目標とします。
- ◎ 数学検定3級以上取得。

### 【通常授業のすすめ方】

教科書の例題や問題集の問題に取り組んでいきます。単元ごとの問題演習、定期テストで到達度をチェックしながら進めていきます。3年生の1月からは総仕上げの総合問題演習を行い、中学校の内容の総復習と実力の養成を行います。

計算規則を正しく覚えるなど基本事項を大切に、学んだ知識を運用できるように学習していきます。そうした毎日の勉強を続けていくことで、問題解決能力を身につけます。

### 【講座制授業のすすめ方】

- ◎ 各単元終了後に希望制の復習講座を開講します。準拠教材、問題集、オリジナルプリントを利用します。
- ◎ 3年生では高校生でも学ぶ内容を中心に学習します。

### 【使用教材(予定)】

- 教科書 新しい数学 (東京書籍)  
 副教材 新しい数学 基礎からの問題集 (東京書籍)  
 新中学問題集 (教育開発社)



ジュニア数学オリンピックに挑戦した生徒たち

## 理科で輝く

### 【学習進度】

中学1年		中学2年		中学3年	
通常授業	講座制授業	通常授業	講座制授業	通常授業	講座制授業
1年		2年		1化学変化とイオン	◎復習講座
1植物の世界	◎復習講座	1化学変化と原子・	◎復習講座	2生命の連続性	◎実験講座
2身のまわりの物質	◎計算演習講座	分子	◎計算演習講座	3運動とエネルギー	◎発展講座
3身のまわりの現象	◎実験講座	2動物の生活と生物	◎実験講座	4地球と宇宙	
4大地の変化	◎発展講座	の変遷	◎発展講座	5地球と私たちの未	
2年		3天気とその変化		来のために	
1化学変化と原子・		4電流の世界		<b>1月以降</b>	
分子		3年		<b>通常授業</b>	<b>講座制授業</b>
4電流の世界		1化学変化とイオン		◎問題演習	◎問題演習講座
		3運動とエネルギー		◎中学の総復習	

### 【成果目標】

実験や観察を通じた体験型の学習によって、理科の楽しさや理論的な考え方を学びます。人類が蓄積してきた自然に関する知識を無理なく修得することを目指し、以下の項目を成果目標に掲げます。

- ◎ 興味と関心を持ち自然現象を観察することが出来る。
- ◎ 科学の知識を活かして、自然現象を理解することが出来る。
- ◎ 自ら考え、調べ、実験したことをまとめ、発表できる。

### 【通常授業のすすめ方】

化学・生物分野、物理・地学分野に分けて、並行して授業を進めていきます。

1年生では自然観察の活動を通じた仲間づくりからはじめ、観察・実験・まとめ方(レポート)を学びます。2年生では実験を通して考える力を身に付け、3年生の12月までには教科書を終わらせ、1月からは中学校の総復習を行い、高校進学に向けた基礎力の定着・実力養成ができる体制を整えています。

### 【講座制授業のすすめ方】

- ◎ 復習講座で既習事項の定着を図ります。
- ◎ 発展内容の実験は講座制の時間を活用します。

### 【使用教材(予定)】

- 教科書 新編 新しい科(東京書籍)
- 資料集 最新理科便覧(浜島書店)
- 副教材 中学理科ノート(新学社)
- 理科の完全学習(正進社)
- 実力養成プリント(週のまとめ、オリジナル)

## 英語で輝く

### 【学習進度】

中学1年		中学2年		中学3年	
通常授業	講座制授業	通常授業	講座制授業	通常授業	講座制授業
1学期 ◎アルファベット ◎日常の会話・数字 ◎動詞：3単現 ◎代名詞 ◎英語暗唱コンテスト 2学期 ◎疑問詞 ◎助動詞 can ◎動詞：進行形 ◎English Day 3学期 ◎過去形：一般動詞 ◎English day ◎英語スピーチコンテスト	◎英検講座 ◎復習講座	1学期 ◎過去形：be 動詞 ◎時制：未来 ◎不定詞 ◎助動詞 2学期 ◎接続詞 ◎there is の文 ◎動名詞 ◎エンパワーメントプログラム 3学期 ◎比較表現 ◎受け身 ◎英語スピーチコンテスト	◎英検講座 ◎復習講座	1学期 ◎完了形 ◎不定詞 ◎現在分詞・過去分詞 2学期 ◎関係代名詞 ◎エンパワーメントプログラム <b>1月以降</b> <b>通常授業</b> ◎長文読解 ◎文法・構文錬成 ◎語彙力強化 ◎英語スピーチコンテスト	◎英検講座 ◎復習講座 <b>講座制授業</b> ◎高校文法・語法 ◎英検講座

### 【成果目標】

これから私たちは、世界の人々と話し合う機会がますます増えていきます。様々な国々に住む人々と英語で分かり合い、よりよく生きていく方法を一緒に考えていきます。英語で相手を理解し、自分の考えを伝えていくために、次のような成果目標を掲げます。

- ◎ 中学2年の冬までに英検3級以上80%、中学3年の冬までに英検準2級以上50%取得。
- ◎ 中学2年の校内英語暗唱コンテストで、2分間の暗唱ができる。
- ◎ 中学3年の冬までに全ての生徒が3分間のスピーチ発表ができる。

### 【通常授業のすすめ方】

教科書を中心に、読む書く聞く話すの4技能のトレーニングを行います。3年2学期までに教科書を修了し、中学の基本文法や語彙を身につけます。3年3学期から、習得した英語を自在に使えるように、より深く英語を学習し、英語力の定着を図ります。

中学1年では年に2回、1日中英語だけを使用して学習する English Dayを設け、英語に慣れ親しみ、失敗を恐れず、積極的に英語を使おうとする姿勢を身につけます。中学2・3年では3日間、海外の留学生と英語を用いて議論やプレゼンテーションを行うエンパワーメントプログラムを用意します。国際社会で活躍するために必要不可欠なコミュニケーション力や、広い視野、リーダーシップの育成を行います。

### 【講座制授業のすすめ方】

- ◎ 英検対策講座を設け、英検取得による英語への自信と向上心を養います。
- ◎ 復習講座で既習事項の定着を図ります。



エンパワーメントプログラム

### 【使用教材(予定)】

- 教科書 New Horizon(東京書籍) UNICORN1(文英堂)
- 副教材 教科書準拠のワーク教材と単元別テスト(教育開発出版・東京書籍など)
- 英作文 B・C(教育開発出版)
- 中学版システム英単語と例文書き込みワークブック(駿台文庫)



## 保健体育で輝く

### 【学習進度】

中学1年	中学2年	中学3年
通常授業	通常授業	通常授業
◎体ほぐしの運動 ◎陸上競技 ◎球技 (バレーボール)(バスケットボール) ◎武道 (柔道) ◎ダンス ◎器械運動 (マット運動) ◎心身の発達と心の健康 ◎体育理論	◎体ほぐしの運動 ◎陸上競技 ◎球技 (ソフトボール)(サッカー)(卓球) ◎武道 (柔道) ◎ダンス ◎器械運動 (跳び箱運動) ◎健康と環境 障害の防止 ◎体育理論	◎体ほぐしの運動 ◎陸上競技 ◎球技 (ソフトボール) (サッカー、バレーボール、バスケットボール、バドミントン) ◎武道、ダンス ◎器械運動 (マット運動、跳び箱運動) ◎健康な生活と病気の予防 ◎体育理論

### 【成果目標】

- ◎ できる運動、得意な運動はさらに技術力を伸ばしていきます。できない運動、不得意な運動はなぜできないのかを考え、工夫しながら取り組ませていきます。心身の関係が密接に関連し合っていることを理解することが大切です。

### 【通常授業のすすめ方】

体育授業については、体づくり運動、準備運動の後に主運動に展開していきます。基礎基本の反復練習、ルールや審判法を身につけ適正な競技やゲーム運営ができるようにしていきます。

保健授業については、教科書、副教材を中心に授業を進め、状況に応じて視聴覚教材を利用していきます。

### 【講座制授業のすすめ方】

- ◎ なし

### 【使用教材(予定)】

- 教科書 新編 新しい保健体育(東京書籍)
- 副教材 新しい保健体育 学習ノート(東京書籍)



スキー教室 灯籠づくり

## 音楽で輝く

### 【学習進度】

中学1年		中学2年		中学3年
通常授業	箏授業	通常授業	箏授業	通常授業
1学期 ◎校歌 ◎発声の基本学習 ◎姿勢と呼吸法  2学期 ◎日本歌曲 ◎外国歌曲 ◎アンサンブル ◎鑑賞  3学期 ◎アンサンブル ◎鑑賞  全学期 ◎理論	1学期 ◎基本奏法の習得 ◎小曲の練習  2学期 ◎応用奏法の習得 ◎合奏曲の練習  3学期 ◎古典に親しむ ◎合奏曲の練習	1学期 ◎日本歌曲 ◎外国歌曲 ◎鑑賞  2学期 ◎日本歌曲 ◎外国歌曲 ◎二部、三部合唱 ◎発表  3学期 ◎器楽と歌の合奏  全学期 ◎理論	1学期 ◎奏法の復習  2学期 ◎合奏曲の練習  3学期 ◎表現力の向上 ◎古典に親しむ	1学期 ◎外国歌曲 ◎鑑賞 ◎日本歌曲  2学期 ◎アンサンブル ◎外国合唱曲 ◎観賞 ◎発表  3学期 ◎創作 ◎合唱  全学期 ◎理論

### 【成果目標】

表現及び鑑賞等の活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動に必要な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養うことを目標とします。また、アンサンブルにおいては協調性の育成、発表の場においては自己表現力の養成を目標とします。邦楽においては、1、2年次に箏の授業を設け、日本独自の楽器である箏に慣れ親しむことで日本の音楽を身近に感じ、ひいては日本文化への理解を深め、国際人としての自己の確立の一端を担うことを目標とします。

### 【通常授業のすすめ方】

歌唱活動を通じては、姿勢から呼吸法を学びます。次いで歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲種に応じた発声を心がけ、言葉の特性を生かして歌うよう指導していきます。器楽の活動においては、その楽器の特徴を捉え、基礎的な奏法を見に付けられるよう指導し、理論については、適宜プリントを使用して習得できるようにします。鑑賞においては、国内外の音楽に触れられるよう題材を工夫します。

1年生・・・教科書にある教材と合わせて、校歌を2部合唱で歌えるようにします。

2年生・・・少人数のアンサンブルから合唱、合奏に取り組みます。校歌は4部合唱に取り組みます。

3年生・・・合唱はより高度なものに取り組みます。

又、創作活動として、百人一首に曲をつけて発表します。

### 【箏授業のすすめ方】

箏を通じて、日本の音階に親しみ、また、楽器としての箏を身近に感じられるよう、古典から童謡まで様々な曲を取り入れます。

1年生・・・簡単な合奏曲と、古典「六段の調べ」に取り組みます。

2年生・・・アンサンブルを楽しめるよう合奏に取り組みます。古典「千鳥の曲」に取り組みます。

### 【使用教材(予定)】

教科書 中学生の音楽(教育芸術社) 中学生の器楽(教育芸術社)

副教材 音楽のハーモニー(正進社)

箏



桐生大学学園祭 合唱

## 技術・家庭で輝く

### 【学習進度】

中学1年		中学2年		中学3年	
技術分野	家庭分野	技術分野	家庭分野	技術分野	家庭分野
<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の栽培</li> <li>・植物の特徴と生育</li> <li>・植え付けと手入れ</li> <li>・作物の収穫</li> <li>・材料の特徴と性質</li> <li>・木材の加工</li> <li>・製図の書き方</li> <li>・木製品の制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長と家族</li> <li>・子供の成長</li> <li>・手作りおもちゃの製作</li> <li>・幼児との交流</li> <li>・幼児のおやつ</li> <li>・家族と家庭生活</li> <li>・私たちの快適な住まい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトウェアとハードウェアの役割と働き</li> <li>・ネットワークのしくみ</li> <li>・情報社会の安全性</li> <li>・電気エネルギーの種類とその利用</li> <li>・コンピュータ制御のロボットの考察</li> <li>・電気エネルギーを利用したものづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活と栄養</li> <li>・日常食の献立と食品の選び方</li> <li>・調理実習</li> <li>・衣服の選択と手入れ</li> <li>・被服製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションソフトの使い方</li> <li>・デジタルデータ部品の作成</li> <li>・スライドの作成</li> <li>・作品の発表会</li> <li>・プログラムによる計測・制御</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・染色実習</li> <li>・ミシン縫いの応用</li> <li>・家庭生活と消費</li> <li>・環境問題について</li> </ul>

### 【成果目標】

◎技術分野   ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的・基本的な知識や技術を習得するとともに、技術と社会・環境との関わりに理解を深め、実生活や実社会に適切に活用する能力を身に付けることを目標とします。

◎家庭分野   自分たちの生活を見つめ返し、衣食住にかかわる生活全般の「自立」を目指します。家庭に関する基礎的・基本的知識の習得と、それをもとに自分の考えをしっかりと持ち、健康で快適な生活ができることを目指します。

### 【通常授業のすすめ方】

◎技術分野   1、2年生は隔週で2時間連続、3年生においては1時間の授業になります。また、講義以外に実習などの体験的な授業が中心となります。

◎家庭分野   授業で学習したことをもとにして、実践的・体験的な学習を取り入れていきます。  
附属幼稚園での幼児との交流、幼児のおやつ作りとしての手作りパン実習、ミシンによる小物の製作、被服製作、調理実習などを予定しています。



地域との連携 調理実習



桐生大学附属幼稚園 実習

### 【使用教材】

◎技術分野   教科書   技術・家庭（技術分野）   開隆堂  
副教材   技術・家庭ノート 技術分野   新学社

◎家庭分野   教科書   技術・家庭（家庭分野）   開隆堂  
副教材   技術・家庭ノート 家庭分野   新学社

## 美術で輝く

### 【学習進度】

中学1年	中学2年	中学3年
通常授業	通常授業	通常授業
<p>観る・感じる・つくる</p> <p>■素描 彫塑 ・自然の形や色を描き、つくる</p> <p>■デザイン ・紙の特徴を生かしてつくる</p> <p>■工芸 ・木の特徴を生かしてつくる</p> <p>■絵画 ・観て・想像して・描く</p> <p>■鑑賞 ・日本の美しさをみつける</p>	<p>生活の中に生きる美術</p> <p>■構成美の表現 ・構成美の要素、様々な表現技法を楽しむ</p> <p>■デザイン ・幾何学形態を使って着想する。</p> <p>■工芸 ・伝統工芸の理解、堆朱の素材感を楽しむ</p> <p>■絵画 ・形や構図を工夫して描く。</p> <p>■鑑賞 ・生活の中で生かされるアートデザイン</p>	<p>社会へ広がる美術</p> <p>■絵画 ・透視図法で部屋を書く</p> <p>■デザイン ・レタリングの基本、絵文字で伝える</p> <p>■工芸 ・生活の中の明かり、和紙でつくる明かり</p> <p>■鑑賞 ・自然と人間 芸術と科学</p>

### 【成果目標】

観る・感じる・考える・調べる・表現する

さまざまな素材を使い、表現する喜びの中で、美術への愛好心を持ち、感性を磨くこと。

自分の表現したい「もの」や「こと」を具現化するための基礎的な知識や技能を習得し、

作品づくりや鑑賞を通して、豊かな情操を養うことを目標にします。

### 【通常授業のすすめ方】

『課題の意図を理解する』→『準備と計画をする』→『構想を練る』→『制作を行う』→『発表・提出する』の順序で授業を進めていきます。

教科書と副教材(資料集)、クロッキーブックを準備しましょう。

課題の内容を確認し、つくりたい作品や、その着想をクロッキーブックに描きとめましょう。

クロッキーブックは、授業時間以外でも自由に使い、思いついたアイデアや、感じたことをメモして「ネタ帳」にしましょう。

教科書や資料に加え、課題に関連する資料を配布します。重要な事柄の確認とともに、自らも興味を持ち、関連する「もの」や「こと」について調べて理解を深めていく習慣をつけましょう。

作品は自分を映し出す鏡であり、分身だと思って、制作物に愛情をそそいでください。

### 【教科の魅力】

美術は特定の人たちの趣味世界ではありません。日本や世界の文化を理解する上で、現代のアートデザインは不可欠で、社会に深くかかわる生活に根差した教養なのです。基本技能は、数学の公式やスポーツの基本動作と同様に理解と練習で上達します。得手不得手にかかわらず、身に付けるべきことを理解・修得し、観て、感じて、表現する喜びにつなげていきましょう。

### 【使用教材】

教科書 1年生 美術1(開隆堂) 2年生 3年生 美術2, 3 (開隆堂)

副教材 各学年共通:美術資料 群馬の美術 (秀学社)

## 総合学習で輝く

### 【学習進度】

中学1年	中学2年	中学3年
通常授業	通常授業	通常授業
◎進路サポート(29 時間) ・中学校生活のスタート 自己紹介 仲間を知る 生活・学習習慣の見直し ・自分について知ろう <b>発表</b> ◎表現の方法を学ぶ 20 時間 1. 発声の方法 2. レポート作成の方法 3. 論文の書き方 4. コミュニケーションの方法 5. アンケート調査の方法 6. ヒアリング調査の方法 7. アポイントの取り方 8. パワーポイント作成の方法	◎進路サポート(30 時間) ・「働く」ことについて考える 身の回りの職業 どんな仕事をしてみたい？ 働く理由 ・未来の自分デザイン 生き方いろいろ <b>発表</b> ◎クエストエデュケーションプログラム (30 時間) ・5 月～6 社の企業からのミッションに 対して、グループに分かれて、答えの ない課題に挑戦していく。 ・12 月 パワーポイント・原稿・動画を 企業に提出。 ・2 月 全国大会 ◎能学習発表会	◎進路サポート(30 時間) ・進路について考えよう ・自分のことをもっと知ろう ・社会について知ろう ・職業人に話を聞こう仕事研究をしよう ・将来を考える <b>作文</b> 英語と日本語 ◎クエストエデュケーションプログラム (30 時間) ・5 月～6 社の企業からのミッションに 対して、グループに分かれて、答えの ない課題に挑戦していく。 ・12 月 パワーポイント・原稿・動画を 企業に提出。 ・2 月 全国大会 ◎能学習発表会

### 【成果目標】

体験型進路学習「K-JET」の考え方に従って、総合学習を運用していく。

1 つ目は、ベネッセの進路サポートを使用して、「自分を知る」「他者を知る」「学校を知る」「社会を知る」「日本を知る」「世界を知る」というように体験型のプログラムにより、将来に広がりのある進路選択ができるようにしていきます。

また、コミュニケーション力を身に付け、協働学習によって、調査力・論理力・表現力などを養成しつつ、答えのない課題を解決していく能力を育成することが大切となります。

### 【授業のすすめ方】

#### 進路サポート

担任が中心となり、進路サポートのテキストを使用して、さまざまな体験をしながら、お互いの「気づき」を大切にして授業を進めていきます。

#### 表現の方法を学ぶ

様々な表現の方法について、各教科と連携しながら、技能を身に付けていきます。2, 3 年生で実践するクエストにつながるように意識して行います。

#### クエストエデュケーションプログラム

ファシリテーターの先生一人が、授業の運営を行います。担任と副担任が各グループにつき、コーチングにより、モチベーションを上げながら、企業が出すミッションに取り組んでいきます。全国大会出場と企業賞を目標に授業を進めます。

### 【使用教材】

中高一貫進路サポート（ベネッセ）

クエスト テキストブック(2, 3 年)(教育と探求社)

## 1. エールシステム『NOTICE』

### ○ 基本概念

生徒のプラス変化に気づき「やる気」に結びつけるシステム

- ① 生徒のプラス変化に気づく。
- ② 意識的に生徒を見ることで気づく。
- ③ 学校と家庭と地域社会との連携で気づく。
- ④ 本人にフィードバック。

一般的に学校の先生は生徒の問題行動(マイナス面での変化)は敏感に察知できますが、前向きな行動や姿勢の変化にはなかなか気づかないと言われています。

一年間、ずっと前向きな姿勢でいられる子どもはいません。同様にずっとやる気のない状態だという子どももいません。プラス行動とマイナス行動がいろいろな形、場面で交錯して日々過ごしていると考えられます。この時、プラス行動が成果に結びつかず、誰にも評価してもらえないと、そのプラス行動は持続しません。逆にマイナス行動ばかり取り上げられるとどんどんやる気が失われていきます。

エールシステムは生徒のプラス行動を『教員全体で意識的に見ることで発見する』『先生が喜んでいることや応援していることを本人にフィードバックする』という方法でプラス行動を伸ばすというねらいがあります。学校全体で情報を集約することで多くのフォローができます。

### ○ システムの概要

エールシステムを機能させるために必要なこと

- ① 生徒一人一人の成長や変化を的確に把握すること。
- ② 個々の生徒に関する情報が蓄積されやすい環境を作ること。

具体的方法 (状況に応じて方法を工夫)

- ① 一人一人の生徒に対しての「個人カルテ」を作成する。
- ② カルテには生徒に関する基本的な情報を記載する。
  - ・ 家族構成、進路目標、趣味、特技などの基本調査
  - ・ 家庭訪問、面談、添削などの記録
  - ・ 生徒の活動記録(学習、課外活動など)
- ③ 現在は、週に一度教員が生徒のプラス変化を話し合う機会を設けて情報を共有し、生徒にフィードバックしている。

プラス変化に気づくためのより確実な方法

生徒を多角的にあらゆる視点から見ていくことにより変化に気づく可能性を広げていきます。多くの視点をシステムの中に組み込み生徒のプラス変化に気づく機会を増やします。また、気づきの観点も準備しておきます。



視点A: 観察者による視点

- ① 学級担任が気づく。
- ② 教科担任が気づく。
- ③ クラブ顧問が気づく。
- ④ 保護者が気づく。
- ⑤ 地域の方々が気づく。

視点B: 活動場所による視点

- ① HR活動で気づく。
- ② 授業で気づく。
- ③ 課外活動で気づく。
- ④ 家庭で気づく。
- ⑤ 地域社会で気づく。

## 2. MBO「C<sup>3</sup>(シー・キューブ)」

### ○ 基本概念

3つのCの相乗効果で、他者貢献の心・自立(自律)した行動を育むシステム

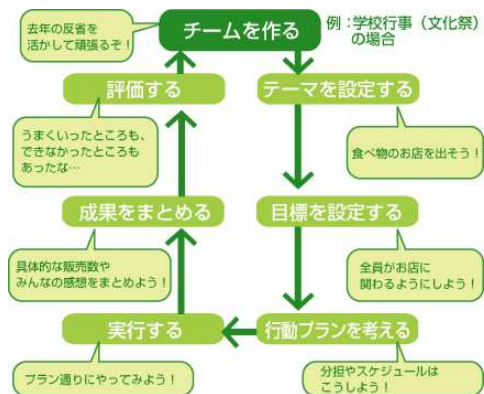
- ① 生徒主導で作上げるクラス・学校行事で自律・自立心を育みます。
- ② チームで協力することで、生徒同士の他者貢献の心を育みます。
- ③ 複数の先生が参加することで、さまざまな考え方のコーチングが可能になります。

※コーチング: 目標実現に向けた自律的な行動を促す支援及びコミュニケーション

#### C<sup>3</sup>(シー・キューブ)

- ① Child-centered-event
- ② Collaboration among the team
- ③ Coaching to motivate everyone

MBOとはドラッカーのマネジメントの概念であり、「目標による管理」の意味です。企業が成果をあげるために導入しているシステムです。学校教育におけるMBOは全国的にも成功例が多く、本校では、桐大中版MBO「C<sup>3</sup>(シー・キューブ)」に発展させ運営していきます。



### ○ システムの概要

具体的方法 (状況に応じて方法を工夫)

#### 《C<sup>3</sup>の流れ》

- ① クラスの中でチーム(4~5人)を作る。
- ② 個々にチームでよいクラス・よい学校を作るために自分たちでできること(テーマ)を考える。
- ③ 具体的な目標と自分たちの行動プランについて考える。
- ④ チームとしての成果について自分たちでまとめる。
- ⑤ 個々の生徒がチームに対して貢献できるように先生たちが支援(コーチング)する。
- ⑥ チームとしての取り組みをまとめて発表する。
- ⑦ 生徒同士お互いにチームとしての取り組みを評価する。

※現在は、月毎にグループ編成を行い、昼食班と運動させ、クラス目標もテーマにC<sup>3</sup>の流れを実施しています。  
 ※各教科において、PBL(課題解決学習)の中で、C<sup>3</sup>の取り組みを生かして学校全体で発展的に取り組んでいます。

#### C<sup>3</sup>を活かすテーマ~学校行事

1年	2年	3年
スプリングキャンプ 尾瀬学校 強歩大会 スポーツ大会 ウィンタースポーツ教室	強歩大会 尾瀬学校 スポーツ大会 ウィンタースポーツ教室	強歩大会 スポーツ大会 研修旅行

### 3. 道徳教育

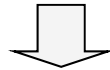
本校の教育理念は「実学実践」であります。『知(自ら知り)、考(自ら考え)、行(自ら行い)、確(自ら確かめる)』を行動指針とし、『こころの教育』をもとに、探究心、自立心、自主性、創造性の育成を目的とした教育理念です。基礎基本を大切にしたい験的、実学的、主体的学習を重視した実践的な教育を目指します。

従って、道徳教育においても教育理念に基づき、体験的・実学的・主体的な道徳教育を実践します。道徳の授業は『為すことによって学ぶ』ための「中核」と位置づけ、ベテラン教職員による20分講話を中心に、MBO『C<sup>3</sup>(シー=キューブ)』の概念を活かしたチーム学習により進めます。

また、道徳実践の場を設定して、豊かな体験による道徳教育を目指します。学校・家庭・地域社会との連携によって、多くの体験ができるように、さまざまな仕掛けを用意します。

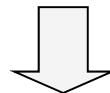
#### ○ 教育理念

「実学実践」
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 『知(自ら知り)、考(自ら考え)、行(自ら行い)、確(自ら確かめる)』を行動指針。</li> <li>● 『こころの教育』をもとに、探究心、自立心、自主性、創造性の育成。</li> <li>● 基礎基本を大切にしたい験的、実学的、主体的学習を重視した実践的な教育。</li> </ul>



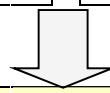
#### ○ 道徳教育の重点目標

● 自律・自立を高める。	● 他者貢献の心を育む。	● チャレンジ心(やる気)を育む。
--------------	--------------	-------------------



#### ○ 道徳授業の考え方

20分講話を中心とした道徳授業	体験的・実学的・主体的な道徳授業
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講話の速記により「聞く」「書く」力を育成し、語学力強化につなげる。</li> <li>● 一つのテーマで、読むべき資料(本)を紹介し、「読む」力へとつなげる。</li> <li>● 多くの教職員が講話を担当することで、学校全体で取り組む道徳教育とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 構成的グループエンカウンターの手法を取り入れ、体験的・実学的な活動とする。</li> <li>● 自分の考えをまとめて、チームで話し合い発表することで「話す」力につなげる。</li> <li>● 道徳授業が日常生活の中で活かされたかどうかを省察できるようにする。</li> </ul>



#### ○ 道徳実践(さまざまな仕掛け)

各教科 (授業のなかで実践)	総合的学習の時間 (体験型進路学習と連携)	日常生活 (学校・家庭・地域と連携)
各教科の目標達成に努める中で、道徳実践力の指導に留意する。体験的学習や問題解決的学習を道徳実践の場として意識して取り入れる。	クエストエデュケーションプログラムなどの体験型教育プログラムのなかで、他者貢献の心やチャレンジ心を育む。	挨拶の励行、身だしなみ、規範意識など道徳実践ができているかどうか自分やチームでチェックできる仕掛けを用意する。

学校行事・特別活動 (学校行事MBO『C <sup>3</sup> (シー=キューブ)』を活用)
他者貢献の心と自律心を育む、学校行事MBO『C <sup>3</sup> (シー=キューブ)』を活用して、チーム目標の中に道徳的目標を入れ込み、実践していく。



## 1. ドリカムプラン『K-JET』（総合学習）

### ○ 基本概念

教育理念である『実学実践』を実現するための、  
「為すことによって学ぶ」進路学習プログラム

桐大中版ドリカムプラン『K-JET』

KIRYU JUNIOR HIGH SCHOOL  
 JUMP OUT OF CLASS 授業から飛び出し  
 EXTEND YOUR WORLD 自分の世界を広げ  
 TIE IN YOUR FUTURE 未来へとつなげよう！

次のようなコンセプトを設定して、生徒の自立・自律を高めながら、自分の未来(進路)につなげます。

- A 安心できる仲間と一緒に様々な体験をする。
- B 様々な人の経験や考えに接する。
- C 自分たちで考えてやってみて、たくさんの失敗体験と成功体験を得る。
- D 体験を通じての学びと学校での学習につなげる。
- E 前向きに学校生活に臨むやる気と勇気を生む。

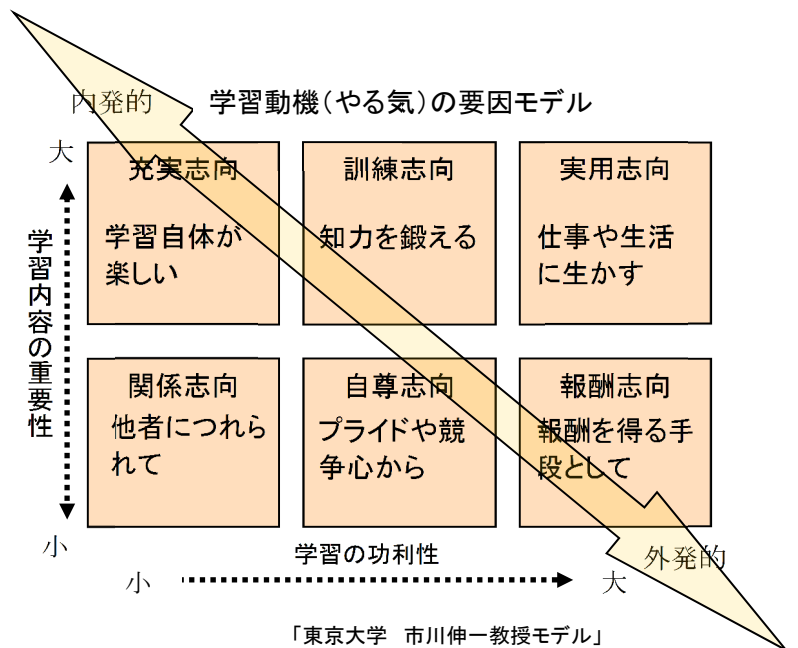
### なぜ進路学習プログラムが必要なのか？

次のような「やる気」を子どもたちが持てるように、さまざまな仕掛けが必要となります。

- ① 子どもが高い目標に挑戦しようと思う。
- ② 子どもが自分の可能性を広げようと思う。

### どうすれば子どもは「やる気」を持つのか？

- ◎子どもの内面から生じるやる気  
 授業の内容が面白い。  
 自分が成長している実感がある。  
 今勉強していることが将来役に立ちそう。  
 →将来の目標と今学習していることをつなげる。
- ◎関係(家族、友達、先生)から生じるやる気  
 周りから努力や達成したことを認められる。  
 友だちが頑張っている、励ましてくれる。  
 →一緒に頑張れる関係がある。



### どんな進路プログラムであればよいか？

「為すことによって学ぶ」(デューイ)の教育理論を根拠にプログラムを考えました。

### 体験したことから学ぶためには何が必要か？

- ① 他者との対話を通じた気づきが必要。
- ② 自分との対話(省察)を通じた学びが必要。

## ○体験による課題解決型進路学習プログラム（例）

中1

### ★表現の方法を学ぶ 20 時間

次の1～8の視点から表現力を高める。

1. 発声の方法
2. レポート作成の方法
3. 論文の書き方
4. 話し合い(コミュニケーション)の方法
5. アンケート調査の方法
6. ヒアリング調査の方法
7. アポイントの取り方
8. パワーポイント作成の方法

(実践例)

G-Suite for Education を活用して表現力を高める。

- ①スライドを使い、写真や図、統計資料などを駆使して、自分の伝えたいことを発表する。
- ②スプレッドシートを活用して、アンケート調査の結果を、グラフにして発表する。
- ③ドキュメントを活用して、レポートや論文を書く。
- ④classroom のクラスのメンバーでコミュニケーションをとる。

中2 中3

### ★教育と探究社主催 クエスト に挑戦 30 時間

#### 1. 活動の準備

会社とは何かの学びから始まる。仕事についての意識、会社の使命を学んだ後に、どの企業のミッションに挑戦するかを生徒の希望をもとにクラス内で決定する。

#### 2. 会社の仕事を理解

ミッションへ取りかかる前に、まずは企業の事業について理解を深める。企業文化や事業内容の理解に加え、街の人々へのアンケート調査によって、企業活動についてさらに理解を深めていく。調査をし、それをまとめる経験もビジネス活動を学ぶステップである。

#### 3. ミッションの実施

企業からのミッションが発表される。各チームは担当企業から課題を受け取り、およそ半年にわたって検討を続ける。企画会議でのブレインストーミングに始まり、アイデアの絞り込み、中間報告と検討が進む。そのステップの中で、企業担当者や教員から厳しい指摘を受ける。

#### 4. プレゼンテーション

検討した課題はクラスのプレゼン大会で発表される。アイデアを伝えるためのパワーポイントや劇。プレゼンテーションの様子はビデオに撮影され企業の担当者に送付される。

#### 5. 全国大会

優秀チームに選抜されると全国大会で発表することができる。

1. 学校行事

学校行事を「自立、自律性を高める教育機会」「精神的なタフネスさを高める教育機会」ととらえています。よって、学校行事は生徒が主体になって作り上げるものとなります。生徒がチームを作り、各チームで役割分担し、行事そのものを作っていきます。そのプロセスで、主体的な活動の面白さを実感し、仲間と力を出し合いながら、困難な局面も乗り越えてゆくことで感動を味わい、それらを通してタフネスさ、チームワーク、リーダーシップなどを修得していきます。さらに、生徒の将来について考える機会になる行事も取り入れ、モチベーションの高揚も図っていきます。

○ 主な学校行事

月	1年	2年	3年
4月	入学式 実力テストⅠ  スプリングキャンプ	実力テストⅠ ベネッセ模試①	実力テストⅠ ベネッセ模試①
5月	中間テスト 第1回英語検定	中間テスト 第1回英語検定	中間テスト 第1回英語検定
6月	尾瀬学校	尾瀬学校	研修旅行
7月	期末テスト 校内英語暗唱コンテスト スポーツ大会	期末テスト 校内英語暗唱コンテスト スポーツ大会	期末テスト 校内英語スピーチコンテスト スポーツ大会
8月	実力テストⅡ	実力テストⅡ	実力テストⅡ
9月	中間テスト	中間テスト	中間テスト
10月	校内イングリッシュ デイ 強歩大会 第2回英語検定 文化祭 ベネッセ模試②	校内イングリッシュキャンプ 強歩大会 第2回英語検定 文化祭 ベネッセ模試②	校内イングリッシュキャンプ 強歩大会 第2回英語検定 文化祭 ベネッセ模試②
11月	学園祭	学園祭	学園祭
12月	期末テスト 芸術鑑賞会	期末テスト 芸術鑑賞会	期末テスト 実力テストⅢ
1月	実力テストⅢ 百人一首大会 ウィンターキャンプ(スキー)	実力テストⅢ 百人一首大会 ウィンターキャンプ(スキー)	百人一首大会  ウィンターキャンプ(スキー)
2月	校内イングリッシュ デイ 第3回英語検定 ベネッセ模試③ 学年末テスト	第3回英語検定 ベネッセ模試③ 学年末テスト	第3回英語検定  学年末テスト
3月	英語スピーチ発表会	英語スピーチ発表会	英語スピーチ発表会 卒業(修了)式

※ 緑色の学校行事は高校生との共通行事です。  
 ※ 実施時期は調整する予定です。  
 ※ 長期休業中は春季講座、夏季講座、冬季講座を予定しています。

※文化祭・強歩大会は隔年で実施予定

※弁論大会を実施予定。 ※計算力コンテストを各学期に実施予定。 ※数検を実施

○学校行事の様子（過去の行事より）

春、中学1年生が泊りで『仲間作り』に出発です。

茶臼山ハイキング、協力し合っのピザ作り仲間との共同生活の始まりです。



水芭蕉が尾瀬に広がる時、1、2年生合同で尾瀬に出かけます。

群馬の大自然に触れる絶好の機会です。

自然を大切に！地球の環境問題を考える機会にもなります。



夏、中高合同でスポーツ大会が実施されます。

サッカー、バスケットボール、バドミントン、ドッジボールの4競技が中高合同で行われます。

中学生が勝利するケースもあります。

後半は、中学、高校に分かれて球技を楽しみます。

中学生はフットサルや全員リレーなどで盛り上がります。



秋に3日間、中学2年生～3年生全員でエンパワーメントプログラム(校内イングリッシュキャンプ) 東京大学などに留学している大学院生と一緒に様々なテーマで、英語で議論します。 留学生は生徒たちの家庭でホームステイをします。



スポーツの秋、中高合同の強歩大会が行われます。 足利河川敷公園から学校まで約20kmを完歩します。 各クラスでゴールタイムの平均を予想。順位を競います。 ゴール後は保護者の皆様の心温まるトン汁が待っています。 表彰式では、先生方からの飛び賞で盛り上がります。



秋、2年の一度の文化祭。 中高一貫校ですから、高校生とともに本格的な文化祭となっています。 実行委員による生徒たち主導の学校行事です。 保護者の皆様も大活躍です。



クリスマス頃 劇団四季で『ライオンキング』や『美女と野獣』などを鑑賞します。  
羽田のエグゼクティブホテルでの昼食バイキングは高級感があります。  
保護者参加型の学校行事です。



冬、新年最初の行事として百人一首大会を行っています。  
和室において、3人一組で対戦します。  
いチーム、ろチーム、はチーム・・・  
上の句でみんな取られてしまうこともあります。



冬、新潟六日町スキーリゾート(平成29年度 舞子国際を予定)において1泊2日のスキー教室を実施しています。  
中学1年～3年生が全員参加します。  
「わたしをスキーに連れて行って！」の映画が流行した年代の先生が張り切っています。  
夜は『灯籠づくり』で幻想的な世界を体験する生徒もいます。  
バイキングの食事でリッチな気分にもなれます。



○ 国際交流プログラム

国際社会に生きる日本人として、豊かな人間性と教養と語学力を身につけた生徒を育成します。そのためには国際交流プログラムを積極的に組み、さまざまな体験ができるシステムをつくります。‘世界を見渡せる 360° の視野をみにつける’ことを目標にしています。

ただ海外の文化に触れるのではなく、桐生・群馬そして日本の伝統的な文化を体験し自国の文化を理解することで異文化を理解し尊重するところの育成に取り組んでいます。

★英語力向上と国際交流プログラム

学年	校内コンテスト	校外コンテスト等	外部資格試験	国際交流プログラム	日本の伝統文化理解
中1	↑ 英単語コンテスト (E・W・C) ↑ 英語暗唱コンテスト (7月) ↑ 英語スピーチコンテスト (3月)	↑ 英語弁論大会 (9月)	↑ 英検 (努力目標)	校内 English Day (各学期) ~ 校内	↑ 等授業 ↑ 百人一首大会 (1月)
中2			G-TEC (12月)	校内 English Camp (中2, 3) (ブレインパワーメントプログラム)	↑ 能授業
中3		↑ 各種英語スピーチコンテスト		国内研修旅行 (6月) ~ 京都・奈良など 中期留学 (1月~3月) ~ ニュージーランド (希望者)	
高1			↑ 英検 (努力目標)	長期休業中 各種短期留学 (8月, 12月, 3月) (希望者)	
高2			↑ TOEIC・TOEFL (希望者) ↑ 英検 (努力目標 準1級)	海外研修旅行 (6月) ~ ニュージーランドなど	
高3			↑ TEAP (希望者)		

1. 校内コンテスト

☆英単語コンテスト

中1~高2の5年間継続実施する。  
前期英単語コンテスト中1~中3  
後期英単語コンテスト高1~高2

☆英語暗唱コンテスト

中1~中3で実施する。  
英語教科書(テキスト)などの暗唱を行う。

☆英語スピーチコンテスト

中1~中3で実施する。  
学年ごとにテーマを決めて実施する。

暗唱コンテスト



## 2. 校外コンテスト

### ☆英語弁論大会

中学代表者: 桐生市英語弁論大会に出場する。

### ☆英語スピーチコンテスト

高校代表者: 明石杯英語スピーチコンテスト

その他のコンテスト

## 3. 外部資格試験

### ☆英検

中学: 準2級取得を努力目標とする。

高校: 準1級取得を努力目標とする。

### ☆G-TEC

中1～中3の3年間継続して受験(12月)スコアの伸長を確認する。

### ☆TOEIC、TOEFL

高2～高3希望者が受験する。大学入試に活用する。

### ☆TEAP

高3の受験期に希望者が受験する。大学入試に活用する。

### プレエンパワーメントプログラム



## 4. 国際交流プログラム

### ☆校内 English Day (1日中 英語の日)

中1で実施する。年間1～3日程度

### ☆校内 English Camp (プレエンパワーメントプログラム)

中2～中3で 有名大学の留学生とディスカッション 留学生は各家庭でホームステイ

### ☆研修旅行

中学: 国内研修旅行(京都・奈良など)

高校: 海外研修旅行(ニュージーランドなど)

### 中期留学～ニュージーランド



### ☆海外英語力向上プログラム

長期休業中などに各種短期留学に参加(希望者)。

### ☆中期留学プログラム

中3希望者 ニュージーランドなど 3学期実施。

### 台湾学生との交流

### ☆台湾 高校生などとの交流

本校は積極的に海外学生の訪問などを受け入れています。





## 2. クラブ活動

### ○特別進学コース

特別進学コースのクラブ活動は、基本的に週に2回の活動とします。自主的な活動と位置づけ、生徒主導による活動を推進します。各種コンクールなどへの参加・応募など制限をすることはしません。また、地元のクラブチーム、お稽古事なども、学校の部活動と同じと位置づけて応援をしていきます。

さらに、高校生とともに活動するクラブを推進して、先輩とのつながりを深め、自立・自律を高め、他者貢献の心を育成していきます。

運動部	文化部
バスケットボール	英語スピーチ
バドミントン	音楽
卓球	書道
フットサル	ロボコン
陸上	サイエンス
ダンス	ボランティア
テニス	美術
体操	民芸製作
	囲碁・将棋
	箏
	園芸

### ○進学スポーツコース(新設)

平成 29 年度 男子サッカー部を創部しました。

#### 理念

文武両道を目指し、活動します。その中で全国優勝を目指し、高校につなげ、将来プレーヤーとしても人間としても世界に通じる人間の育成を考えています。

#### 指導者

数々の Jリーガーを輩出した小林勉 氏

#### 練習&試合(予定)

週 2 回はバス送迎で桐生大学人工芝グラウンドへ行きトレーニングを行います。

週 2 回は本校で体幹トレーニングを中心に練習を行います。

月曜日はミーティングかオフ

週末は公式戦(中体連&クラブチーム)及び練習試合を行います。

遠征を年に数回行います。

## ○クラブ活動の様子



### ★PICK UP

#### 書道部

全国規模の展覧会上位入賞をしているクラブです。  
自分の思い通りの作品が書けた時は最高です。  
部員全員が一生懸命練習しています。



#### ロボコン部

生徒の熱い要望に応じて、新規クラブとして誕生しました！夢は「ロボットコンテスト全国中学生大会」に出場することです。



#### 英語スピーチクラブ

ケビン先生と、マンツーマンで英語指導が受けられます。  
楽しい会話を通して英語力をアップできます。



## 教育成果目標

### 1. 学習成果

- 全国模試などによる偏差値が英・数・国の3教科において5.0以上上昇している。(1年最初と3年最後を比較)
- 中学1年で英語の絵本の朗読ができる。
- 中学2年の冬までに英検3級以上70%、中学3年の冬までに準2級50%を取得。
- 中学2年の校内英語暗唱コンテストで全ての生徒が2分暗唱できる。
- 中学3年の校内英語スピーチコンテストで全ての生徒が3分スピーチできる。
- 中学3年までに英単語1600を修得する。
- 論文やレポートが、各段階・各場面において適切に書ける。
- プレゼンテーションが各段階・各場面において適切に行える。

### 2. 全国学力・学習状況調査による成果

- 自律とモチベーション
  - 「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している。」70%(全国 62.0%)
  - 「自分にはよいところがあると思う。」70%(全国 61.2%)
- キャリアビジョンと行動自律の習慣化
  - 「将来の夢や目標を持っている。」80%(全国 71.0%)
  - 「自分で計画を立てて勉強している。」50%(全国 37.7%)
- チームワークができる力をもっている
  - 「人が困っているときは進んで助けている。」80%(全国 72.2%)
  - 「人の役に立つ人間になりたいと思う。」95%(全国 90.4%)

教育評価の観点 ※年度に2回の学校評価アンケートを実施し検証しています。

項目	観点
先生と先生	先生たちが仲間意識をもっている。教科間で連携が行われている。 先生がオリジナル教材に挑戦している。
先生と生徒	先生が生徒の良い点に気づいている。 先生が率先してコミュニケーション(挨拶)をしている。 進路指導が上手に行われている。 基礎学力が身に付いていると生徒が感じている。 授業が楽しいと生徒が感じている。
生徒と生徒	仲間を大切にしている。 お互いに高めあっている。 生徒が自主的に学習活動を行っている。
生徒と保護者	子どもと親が日常的にコミュニケーションしている。 保護者が学校行事に協力している。 食事がともにしっかりとれている。
学校と家庭	学校が定期的に情報を発信している。例)行事予定・各種便りなどを発行している。 保護者会・三者面談・家庭訪問が計画的に行われている。 家庭での学習状況が分かっている。
学校と地域	地域と協力する学校行事が行われている。 地域社会の人たちと情報交換が行われている。
学校と学園	特進高校生との関係が上手くいっている。 学園の教育資源が上手く活用されている。 感動的な体験学習が行われている。

## 1. 2018年度(平成30年度)中学募集要項(抜粋)

### 募集定員

30名

次の2コースを募集します。2コース合わせて30名の募集となります。

特別進学コース

進学スポーツコース

※少人数2クラス体制

### 入試日程

#### 推薦入試

第1期入試 平成29年11月18日(土)

第2期入試 平成29年12月16日(土)

#### 一般入試

第1期入試 平成29年11月18日(土)

第2期入試 平成29年12月16日(土)

第3期入試 平成30年 2月 3日(土)

### 受験料

10,000円(推薦入試・一般入試)

※指定の用紙で、指定金融機関に払い込んでください。

※受験料を1回振り込んでいただければ、複数回受験することができます。

例えば、推薦入試第1期(11月18日実施)を受験して、一般入試第2期(12月16日実施)や第3期(2月3日実施)を再受験した場合、最初の10,000円のみを払込で、受験することができます。受験料10,000円で最大3回の受験が可能です。

※一旦納入した受験料は、理由の如何を問わず返還しません。

## 推薦入試

募集コース	特別進学コース・進学スポーツコース
出願期間	第1期:平成29年11月1日(水)～8日(水) 9:00～16:00(郵送必着)※土日祝日除く 第2期:平成29年11月29日(水)～12月5日(火) 9:00～16:00(郵送必着)※土日祝日除く
試験期日	第1期:平成29年11月18日(土) 第2期:平成29年12月16日(土)
試験会場	桐生大学附属中学校
合格発表	第1期:平成29年11月23日(木) 第2期:平成29年12月21日(木) (いずれも個人宛へ送付します。)
出願資格	平成30年3月に小学校卒業見込みの者で、かつ次の(1)～(4)の条件のいずれかに該当する者 (1)学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事の推進に顕著な役割をはたした者 (2)地域活動(子供会・ボーイスカウト・スポーツ少年団等)で顕著な功績があった者 (3)学術・芸術・スポーツ等で優れた能力を持ち、市・郡レベル以上の大会等で活躍した者 (4)英検3級以上を取得している者 ※いずれの場合も学力の条件はあります。
単併区分	特別進学コース 単願者 進学スポーツコース 単願者
試験方法	☆作文 ☆面接(個人)本人および保護者 ☆書類選考 ☆実技試験(サッカー) *進学スポーツコース受験者のみ実施します。
試験時間	集合時間 9:30 諸注意 9:30～9:45 作文 10:00～10:40 保護者面接 10:00～ 児童面接 11:00～ 実技試験 桐生大学グラウンド移動後 *進学スポーツコース受験者のみ
出願書類	(1)入学願書・副票・受験票・・・本校所定の用紙(写真・受験料払込票を添付) (2)推薦書・・・下記①～③のいずれかの推薦書(すべて本校所定の用紙) ①出身小学校長が作成した推薦書 ②スポーツ団体の責任者が作成した推薦書 *進学スポーツコースに出願する者のみ ③自己推薦をする場合は自己推薦書 (3)面接調査票・・・本校所定の用紙 (4)通知票の写し(第5,6学年次の表・裏すべて) (5)受験票返信封筒
その他	☆進学スポーツコースの募集競技は、サッカー(男子のみ)です。 ☆同日に行われる一般入試との重複受験はできません。 ☆第1期推薦入試が不合格の場合は、第2期の推薦入試は再受験できません。 *一般入試再受験者・・・再受験用の入学願書・受験票返信封筒の提出が必要となります。

## 一般入試

募集コース	特別進学コース・進学スポーツコース
出願期間	第1期:平成29年11月1日(水)～8日(水) 9:00～16:00(郵送必着)※土日祝日除く 第2期:平成29年11月29日(水)～12月5日(火) 9:00～16:00(郵送必着)※土日祝日除く 第3期:平成30年1月24日(水)～2月2日(金) 9:00～16:00(郵送必着)※土日祝日除く
試験期日	第1期:平成29年11月18日(土) 第2期:平成29年12月16日(土) 第3期:平成30年2月3日(土)
試験会場	桐生大学附属中学校
合格発表	第1期:平成29年11月23日(木) 第2期:平成29年12月21日(木) 第3期:平成30年2月8日(木) (いずれも個人宛へ送付します。)
出願資格	平成30年3月に小学校卒業見込みの者
単併区分	特別進学コース・進学スポーツコース 単願者または併願者
試験方法	☆記述試験 国語、算数 ※第2期入試は国語の代わりに英語でも受験ができます。 ☆面接(個人)本人および保護者 ☆書類選考 *進学スポーツコースは、面接終了後、実技試験(サッカー)を実施します。
試験時間	集合時間 8:30 諸注意 8:30～ 8:45 1時間目(国語) 9:00～ 9:45 2時間目(算数) 10:00～10:45 保護者面接 9:00～ 児童面接 11:00～ 実技試験 桐生大学グラウンドへ移動後 *進学スポーツコース受験者のみ
出願書類	(1)入学願書・副票・受験票・・・本校所定の用紙(写真・受験料払込票を添付) (2)通知票の写し(第6学年次の表・裏すべて) (3)面接調査票・・・本校所定の用紙 (4)受験票返信封筒
その他	☆単願者は加点などの優遇措置があります。 ☆進学スポーツコースの募集競技は、サッカー(男子のみ)です。 ☆同日に行われる推薦入試との重複受験はできません。 ☆第1期一般入試が不合格の場合は、第2期・第3期の一般入試が無料で再受験できます。 但し、第2期推薦入試は受験できません。 *一般入試再受験者・・・再受験用の入学願書・受験票返信封筒の提出が必要となります。

## 出願手続

### (1) 出願について

前記の出願期間内に下記の出願書類を本校事務室に提出(持参又は郵送)してください。なお、受理した書類および入学検定料は、いっさい返還しません。

- ・持参の場合・・・出願期間中の9時から16時まで(土・日・祝日を除く)です。
- ・郵送の場合・・・出願期間の最終日必着です。「簡易書留」で郵送してください。

### (2) 出願書類

#### ① 入学願書・副票・受験票

- ・本校所定の用紙に必要な事項を黒のボールペンで記入してください。
- ・本人写真(タテ4cm×ヨコ3cm)と受験料払込票をのりで貼り付けてください。
- ・受験区分、受験コース、単併区分など該当する項目に☑をしてください。

#### ② 通知表の写し

- ・推薦入試の場合・・・第5、6学年次の表・裏すべてを提出してください。
- ・一般入試の場合・・・第6学年次の表裏すべてを提出してください。

#### ③ 面接調査票

- ・保護者が黒のボールペンで記入してください。
- ・①～⑩の質問には、家庭で相談され、わかる範囲で記入してください。
- ・まだ決めていない場合や、項目が該当しないときは、「未定」や「なし」と記入してください。

#### ④ 受験票返信封筒

- ・確実に通知が届く住所・宛名を記入してください。ただし、本校持参で出願する場合は記入不要です。

#### ⑤ 推薦書 \* 推薦入試に出願する場合のみ

- ・出身小学校長用推薦書を使用する場合・・・小学校の先生に作成してもらってください。
- ・スポーツ団体の責任者用推薦書を使用する場合・・・進学スポーツコースに出願する者のみです。
- ・自己推薦書を使用する場合・・・上記2つの推薦書を使用できない場合には自己推薦をすることができます。

#### ⑥ 推薦条件を証明する書類(任意) \* 推薦入試に出願する場合のみ

- ・学校の活動や地域の活動での功績がわかる資料など
- ・各種大会やコンクールでの入賞実績などがわかる資料など
- ・英検取得を証明する資料など

## 受験上の注意

### (1) 持参するもの・・・受験票、鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、上履き

- \* 進学スポーツコース志望者・・・運動着、運動靴(サッカーができる服装)、昼食
- \* 分度器、コンパス、計算機、翻訳機能付き時計、下敷き、携帯電話は使用できません。

### (2) 当日の予定・・・入試科目、当日の時間割などは前記の通りです。

### (3) 保護者面接・・・両親での面接が望ましいですが、お一人でも問題はありません。

### (4) 受験会場・・・桐生大学附属中学校(桐生市小曾根町9番17号)

- \* 上電西桐生駅より徒歩1分、JR桐生駅より徒歩5分です。
- \* 駐車場はアクセスマップで確認してください。
- \* 実技試験(進学スポーツコース一般・推薦受験者共通)は、桐生大学のサッカーグラウンドに移動して実施します。

## 合否発表の方法

合否結果は合否にかかわらず郵送で通知します。なお、合否に関する個別の問い合わせには応じられません。

## 入学手続

### (1)入学手続日

\* 1次手続と2次手続があります。

\* 1次手続期限までに、入学金・施設設備費・その他の経費を本校所定の用紙にて、指定金融機関へ払い込んでください。

☆1次手続(入学金・施設設備費・その他の経費の払込み)

単願合格者 平成30年1月5日(金)まで

併願合格者 平成30年2月16日(金)まで

☆2次手続(学用品注文など諸手続)

入学予定者全員 平成30年2月24日(土)

\* 進学スポーツコースについては、トレーニングウェアなどの採寸が別日程であります。

### (2)留意事項

\* 合格通知と入学手続の書類は個人宛に送付します。

\* 合格者は所定の期日に入学手続を完了してください。所定の期日に手続が完了されない場合は、合格取り消しとなります。

\* 一度納入した経費(入学金等)などは、いかなる理由があっても返還しません。

## 経 費

(平成29年度参考)

入学時の学納金等		
入 学 金	110,000円	
施 設 設 備 費	130,000円	
研修旅行等積立金	40,000円	(預り金)
計	280,000円	

月々の経費		
授 業 料	16,000円	
施設設備拡充費	4,000円	
教育充実費	10,000円	
父母の会費	1,000円	
後援会費	3,000円	
校友会費	2,500円	
図書教材費	200円	
計	36,700円	

※他に昼食費(6,000円)と研修旅行費の積立(6,000円)が月々の経費としてかかります。

### その他諸費用(概算)

- 指定学用品 (平成29年度の場合)
  - 制服一式(基本セット) 約 55,000円
  - 制靴 現在、指定なし
  - 制靴一式 約 14,000円 (運動靴、上履きなど含む)
  - 運動着一式 約 15,000円
  - 電子辞書 約 29,000円
- 団体傷害保険 10,680円(3年分)
- 定期券代 電車、バスなど利用者 各自購入
- 芸術鑑賞会や文化講演会、各種合宿などを計画した場合はその都度徴収(あるいは口座引き落とし)となります。また、個別の教材費や模擬試験・英検・数検などの検定試験にかかる費用は別途徴収の予定です。

### \* 進学スポーツコース

- 年に数回の遠征・合宿などにもなう宿泊費がかかります。
- ユニフォーム代などがかかります。
- 遠征のためのバス費用、グラウンド使用料、大会参加費は学校負担となります。

●社会状況の変化に伴い、入学金・授業料等は変更する場合があります。





## 2. 2018年度入試について

### ○ 推薦入試内容

#### I 作文について

◎400字～600字程度の作文とします。

#### II 面接について

- ◎ 保護者と児童に対してそれぞれ実施します。
- ◎ 本校の教育方針に適しているかを見ます。具体的にはチームによる活動(集団生活適応能力)や朝の授業や講座制授業などの学習活動に適応できるかを見ます。
- ◎ 現時点での進路希望について確認します。大学進学を視野に入れていることも確認します。
- ◎ 進学スポーツコース希望者は学習とスポーツとの両立ができるかどうかを見ます。

#### III. 実技試験について

◎進学スポーツコースを受験する児童は、実技試験(サッカー)があります。

\*ドリブル・パス・シュートなど基礎技術を見ます。

### ○ 一般入試内容

#### I.学科試験について

- ◎ 国語と算数の2科目です。基礎基本を大切に作る問題とします。(小学校5、6年で習う内容を中心に出题します。)
- ◎ 語学力を重視することから、国語の試験に作文を含めます。中学で語学力強化の授業などへの適性も見ます。
- ◎ 第2期入試は国語の代わりに英語で受験することができます。英検3級程度の問題とします。リスニングはありません。

#### II.面接について

- ◎ 保護者と児童に対してそれぞれ実施します。
- ◎ 本校の教育方針に適しているかを見ます。具体的にはチームによる活動(集団生活適応能力)や朝の授業や講座制授業などの学習活動に適応できるかを見ます。
- ◎ 現時点での進路希望について確認します。大学進学を視野に入れていることも確認します。
- ◎ 進学スポーツコース希望者は学習とスポーツとの両立ができるかどうかを見ます。

#### III. 実技試験について

◎進学スポーツコースを受験する児童は、実技試験(サッカー)があります。

\*ドリブル・パス・シュートなど基礎技術を見ます。

## 平成 29 年度 イベント

### 1. 学校説明会

- 6 月 3 日(土) 第 1 回 10:00 受付開始 10:30～
- 7 月 29 日(土) 第 2 回 10:00 受付開始 10:30～

### 2. オープンスクール

- 7 月 1 日(土) 第 1 回 8:30 受付開始 9:00～
- 8 月 20 日(日) 第 2 回 8:30 受付開始 9:00～

### 3. 入試説明会

- 10 月 14 日(土) 10:00 受付開始 10:30～

### 4. 模擬試験

- 8 月 26 日(土) 第 1 回 ※解説日 9 月 2 日(土) 8:30 受付開始 9:00～
- 10 月 7 日(土) 第 2 回 8:30 受付開始 9:00～

### 5. 地区別学校説明会 全 8 回 18:00～19:00

- 7 月 5 日(水) 足利市民会館 207 号室
- 7 月 6 日(木) 太田新田文化会館 第 1 会議室
- 7 月 12 日(水) 前橋ベイシアホール 502 会議室
- 7 月 13 日(木) 伊勢崎文化会館 第 2 練習室
- 9 月 13 日(水) 伊勢崎文化会館 第 2 練習室
- 9 月 14 日(木) 前橋ベイシアホール 502 会議室
- 9 月 26 日(火) 太田新田文化会館 第 1 会議室
- 9 月 27 日(水) 足利市民会館 207 号室

### 6. ナイトスクール 全 6 回 19:00～20:00

- 5 月 23 日(火) 理科 (小学校 5, 6 年対象)
- 6 月 23 日(金) 算数 (小学校 5, 6 年対象)
- 7 月 11 日(火) 英語 (小学校 5, 6 年対象)
- 9 月 6 日(水) 算数 (小学校 5, 6 年対象)
- 10 月 10 日(火) 英語 (小学校 5, 6 年対象)
- 11 月 21 日(火) 理科 (小学校 5, 6 年対象)

### 7. サッカー教室&サッカー練習会

サッカー教室 全 5 回 19:00～20:00

5 月 22 日(月) 6 月 12 日(月) 6 月 19 日(月) 7 月 3 日(月) 7 月 10 日(月)

サッカー練習会(入学希望者対象) 全 2 回

8 月 20 日(日) 14:00～ 9 月 24 日(日)19:00～

※イベント詳細については、ホームページを確認してください。

## 学納金 & 諸費用

### 1. 中学校3年間にかかる費用

○中学校

学納金等(平成29年度参考)

入学時の学納金等		
入 学 金	110,000円	
施 設 設 備 費	130,000円	
研 修 旅 行 等 積 立 金	40,000円	(預り金)
計	280,000円	

月々の経費		
授 業 料	16,000円	
施 設 設 備 拡 充 費	4,000円	
教 育 充 実 費	10,000円	
父 母 の 会 費	1,000円	
後 援 会 費	3,000円	
校 友 会 費	2,500円	
図 書 教 材 費	200円	
計	36,700円	

※他に昼食費(6,000円)と研修旅行費の積立(6,000円)が月々の経費としてかかります。

その他諸費用(概算)

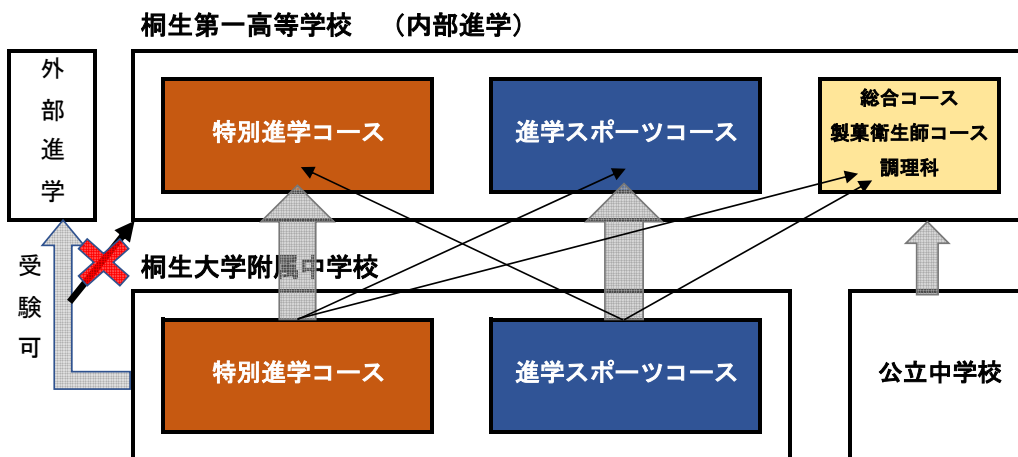
- 指定学用品
  - 制服一式(基本セット)約 55,000円
  - 制靴 現在、指定なし
  - 制靴一式 約 14,000円 (運動靴、上履きなど含む)
  - 運動着一式 約 15,000円
  - 電子辞書 約 29,000円
- 団体傷害保険 約 10,680円(3年分)
- 定期券代 電車、バスなど利用者 各自購入
- 芸術鑑賞会や文化講演会、各種合宿などを計画した場合はその都度徴収(あるいは口座引き落とし)となります。また、個別の教材費や模擬試験・英検・数検などの検定試験にかかる費用は別途徴収の予定です。

\*進学スポーツコース

- 年に数回の遠征・合宿などにもなう宿泊費がかかります。
- ユニフォーム代などがかります。
- 遠征のためのバス費用、グラウンド使用料、大会参加費は学校負担となります。

## 高校とのつながり

- ① 桐生大学附属中学校は特別進学コースと進学スポーツコースの2コース制とします。
- ② 中学特別進学コースの生徒は、原則高校特別進学コースに内部進学します。
- ③ 中学進学スポーツコースの生徒は、原則高校進学スポーツコースに内部進学します。
- ④ 中学時代に進路変更があった場合、他コースへの内部進学を認める場合もあります。
- ⑤ 高校進学時、他の高校を受験した場合は桐生第一高校に入学することはできません。



1. 平成28年度 大学合格実績

国公立大学 20校 現役20校 (在籍47名) 特進 中高一貫

東京農工大学	工学部	電気電子
群馬大学	理工学部	電子情報理工
群馬大学	理工学部	化学・生物科学 2名
群馬大学	理工学部	機械知能システム
群馬大学	理工学部	環境創生理工 2名
群馬大学	医学部	保健学科 看護専攻
北見工業大学	工学部	地球環境工学科
山形大学	工学部	高分子・有機材料工学
群馬県立女子大学	国際コミュニケーション学部	

群馬県立女子大学	文学部	
高崎経済大学	経済学部	2名
都留文科大学	文学部	初等教育学科
都留文科大学	文学部	比較文化学科
新潟県立大学	国際地域学部	
北九州公立大学	法学部	法律学科
釧路公立大学	経済学部	経済学科
室蘭工業大学	工学部	

準大学

防衛大学校	理工学専攻	4名
防衛医科大学校	看護学科 自衛官コース	

私立大 176校 (在籍47名)

立教大学	コミュニティ福祉	コミュニティ福祉
中央大学	文学部	フランス文学
中央大学	理工学部	応用化学
法政大学	生命化学部	環境応用
同志社大学	法学部	法律
成城大学	法学部	法律
芝浦工業大学	工学部	材料工学 2名
芝浦工業大学	工学部	電子工学 2名
芝浦工業大学	工学部	通信工学 2名
芝浦工業大学	工学部	土木工学 4名
芝浦工業大学	工学部	応用化学
芝浦工業大学	工学部	電気工学
芝浦工業大学	システム理工学部	数理科学 2名
芝浦工業大学	システム理工学部	環境システム
芝浦工業大学	システム理工学部	他 4名
芝浦工業大学	デザイン工学部	4名
明治学院大学	経済学部	経済
明治学院大学	文学部	フランス文学
日本大学	法学部	新聞
日本大学	理工学部	物質応用
日本大学	工学部	電気電子工学
日本大学	生産工学部	環境安全工学
日本大学	生産工学部	電気電子工学
日本大学	生産工学部	土木工学

東洋大学	法学部	法律 2名
東洋大学	理工学部	電気電子情報 2名
東洋大学	理工学部	生体医工
東洋大学	文学部	教育学
武蔵野大学	経済学部	経済
東京家政大学	子ども学部	子そも支援
フェリス女学院大学	国際交流学部	国際交流
白百合女子大学	文学部	国語国文学
東海大学	工学部	医用生体工学
帝京大学	経済学部	経営
千葉工業大学	社会システム学部	3名
千葉工業大学	工学部	6名
千葉工業大学	創造工学部	2名
千葉工業大学	先進工学部	2名
千葉工業大学	情報科学部	
関東学院大学	経営学部	経営
関東学院大学	人間共生学部	共生デザイン
文教大学	文学部	中国語中国文学
文教大学	経営学部	経営 2名
文教大学	情報学部	2名
女子美術大学	芸術学部	
昭和音楽大学	音楽	

他

## 2. 平成27年度 大学合格実績

### 国公立大学 16校 現役16校 (在籍31名)

北海道大学	総合教育文系		北見工業大学	工学部	機械・社会環境系
東北大学	医学部	看護学科	高知工科大学	システム工学群	
金沢大学	人間社会学域	地域創造学類	都留文科大学	文学部	社会学科
山梨大学	生命環境学部	地域・社会システム	都留文科大学	文学部	比較文化
群馬大学	理工学部	環境創生理工 2名	<b>準大学</b>		
群馬大学	理工学部	機械知能システム	防衛大学校	理工学専攻	2名
群馬大学	社会情報学部	社会情報学科	防衛大学校	人文・社会科学専攻	2名
高崎経済大学	地域政策学部				
高崎経済大学	経済学部	3名			

### 私立大 125校 (在籍31名)

明治大学	商学部	商	明治学院大学	法学部	政治	2名
明治大学	政治経済学部	地域行政	2名	明治学院大学	経済学部	経営
明治大学	法学部	法	日本女子大学	文学部	日本文学	
立教大学	コミュニティ福祉	コミュニティ福祉	2名	國學院大学	神道文化学部	神道文化
中央大学	法学部	政治学科	日本大学	法学部	政治	
中央大学	総合政策学部	総合政策	日本大学	生産工学部	創生デザイン	
中央大学	商学部	フリーメジャー	日本大学	工学部	土木工学	
中央大学	文学部	人文社会	東洋大学	経済学部	総合政策	
中央大学	文学部	ドイツ文学	東洋大学	経済学部	国際経済	
学習院大学	文学部	ドイツ語文化	東洋大学	理工学部	生体医工	
学習院大学	法学部	政治	東洋大学	法学部	法律	
法政大学	経営学部	経営	駒沢大学	法学部	法律	
法政大学	現代福祉学部	福祉コミュニティ	専修大学	法学部	法律	
法政大学	法学部	政治	2名	専修大学	人間科学部	心理
法政大学	社会学部	社会政策科学	2名			
立命館大学	政策学部	政策学				
立命館大学	法学部	法	2名			
成蹊大学	法学部	政治	2名			
成城大学	法学部	法律				

他85校

### 3. 平成26年度 大学合格実績

#### 国公立大学 15校 現役15校 (在籍34名)

千葉大学	園芸学部	園芸学科	福島大学	人文社会学群	人間発達文化学類
新潟大学	法学部	法学科	山形大学	工学部	応用生命システム
新潟大学	工学部	福祉人間学科学	群馬県立女子大学	国際コミュニケーション学部	
群馬大学	教育学部	文化社会系	群馬県立健康県民大学	看護学部	看護学科
群馬大学	理工学部	化学・生物科学科	前橋工科大学	工学部	生物工学科
群馬大学	理工学部	機械知能システム	都留文科大学	文学部	初等教育学科
群馬大学	理工学部	電子情報履行学科	<b>準大学</b>		
信州大学	工学部	物質工学科	防衛大学校	理工学専攻	2名
山梨大学	工学部	先端材料理工学科	防衛大学校	人文・社会科学専攻	

#### 私立大141校 (在籍34名)

明治大学	農学部	農	獨協大学	経済学部	経済
明治大学	文学部	フランス文学	日本大学	理工学部	物質応用化学
立教大学	文学部	フランス文学	日本大学	生産工学部	数理情報
学習院大学	文学部	フランス文学	日本大学	工学部	機械工学
学習院大学	文学部	フランス文学	日本大学	工学部	電気電子工学
法政大学	文学部	史学	東洋大学	文学部	哲学
法政大学	理工学部	経営システム	東洋大学	文学部	東洋思想
芝浦工業大学	デザイン工学部		東洋大学	理工学部	生体医工
東京農業大学	国際食糧情報学部		東洋大学	生命科学部	応用生物
東京薬科大学	生命科学部	分子生命科学	駒沢大学	文学部	地域文化
國學院大学	文学部	中国文学 2名	フェリス女学院大学	国際交流学部	
國學院大学	文学部	史学	二松学舎大学	文学部	国文学
國學院大学	文学部	哲学			
明治学院大学	心理学部	教育発達			

他114校

#### 4. 平成25年度 大学合格実績

### 国公立大学 15校 現役14校 (在籍22名)

筑波大学	人文・文化学類	日本語・日本文化	鳥取環境大学	環境学部	環境
筑波大学	人文・文化学類	人文	高崎経済大学	経済学部	
横浜国立大学	理工学部	物理工学	群馬県立健康県民大学	看護学部	看護学科
東京学芸大学	教育学部	中等／技術	都留文科大学	文学部	国文
群馬大学	理工学部	化学・生物化学	都留文科大学	文学部	比較文化
群馬大学	理工学部	環境創生理工 2名			
群馬大学	医学部	保健	<b>準大学</b>		
新潟大学	法学部		防衛大学校	理工学専攻 3名	
新潟大学	経済学部		防衛大学校	人文・社会科学専攻	

### 私立大学118校 (在籍22名)

東京理科大学	経営学部		芝浦工業大学	システム理工学部	数理科学
東京理科大学	工学部	建築工学	芝浦工業大学	工学部	土木工
東京理科大学	工学部	数学	成城大学	経済学部	経済
東京理科大学	工学部	経営工学	明治学院大学	文学部	フランス文
明治大学	文学部	文学	法政大学	理工学部	創生科学
立教大学	理学部	物理	日本大学	工学部	生命応用化学 3名
立教大学	理学部	化学	日本大学	生産工学部	応用分子化学 2名
青山学院大学	理工学部	物理・数理	日本大学	文理学部	物理
中央大学	文学部	人文社会 2名	東洋大学	経済学部	国際経済
法政大学	文学部	日本文学	東洋大学	社会科学部	社会心理
法政大学	経済学部	国際経済	駒沢大学	文学部	英米文
法政大学	理工学部	応用情報	専修大学	経済学部	国際経済
法政大学	理工学部	経営システム工 2名			
法政大学	現代福祉学部	臨床心理			他87校



## 5. 平成24年度 大学合格実績

### 国公立大学 23 校 現役23校 (在籍30名)

筑波大学	理工学部	応用理工学類	首都大学東京	システムデザイン学部	
東京学芸大学	教養系	環境総合科学課程	高崎経済大学	経済学部	3名
お茶の水女子大学	文教育学部	言語文化	高崎経済大学	地域政策学部	3名
大分大学	工学部	福祉環境工建築	群馬県立女子大学	文学部	英米文化
群馬大学	情報社会科学部	情報社会科学	群馬県立女子大学	文学部	美学美術史
群馬大学	理工学部	化学・生物化学	群馬県立健康県民大学	看護学部	看護学科
群馬大学	理工学部	環境創生理工	兵庫県立大学	理学部	物質科学
群馬大学	理工学部	機械知能システム理工	釧路公立大学	経済学部	経営
群馬大学	理工学部	電気電子情報理工	準大学		
埼玉大学	経済学部	経済	防衛大学校	理工学専攻	
新潟大学	工学部	福祉人間工	防衛大学校	人文・社会科学専攻	

### 私立大学75 校 (在籍30名)

慶應義塾大学	商学部		中央大学	文学部	人文
上智大学	外国語学部	ポルトガル語	中央大学	法学部	法律
上智大学	文学部	フランス文	中央大学	理工学部	人間総合理工
東京理科大学	理工学部	工業化学	法政大学	理工学部	創生科学
東京理科大学	理学部	物理	同志社大学	グローバル地域学科	
東京理科大学	経営学部	経営 2名	成城大学	文芸学部	
東京理科大学	工学部	建築 2名	國學院大学	経済学部	経済
青山学院大学	社会情報学部	社会情報	國學院大学	経済学部	経済ネットワーク
青山学院大学	法学部	法律	明治学院大学	文学部	フランス文
立教大学	現代心理学部	映像身体	明治学院大学	文学部	芸術
立教大学	文学部	キリスト教	芝浦工業大学	工学部	応用化学
立教大学	法学部	法律	昭和薬科大学	薬学部	薬

他48校

※この Q&A は平成29年4月1日現在のものです。見直しが行われる場合があります。

## 桐生大学附属中学校について

**Q: 桐生大学附属中学はどのような学校ですか**

**A:** 「生徒一人一人が輝く学校」を目指しています。2011年に設立された県内では最も新しい私立中学校です。設備が整った新しい校舎で快適な学校生活を送ることができます。

**Q: 桐生大学附属中学への通学方法はどのような手段がありますか**

**A:** 西桐生駅から徒歩1分。桐生駅から徒歩5分。県内でもっとも駅からのアクセスが良く、安心して通学できます。

**Q: 教育の特色は**

**A:** 国際化する社会の中で幅広い視野を身につけるために以下の3点に力をいれています。

◆英語教育…朝の単語学習や常駐するネイティブの先生による読み聞かせで「英語脳」をつくります。

暗唱・スピーチコンテストを開催、中学校卒業時に英検準2級相当の実力を身につけます。

◆日本文化…能や琴といった日本の伝統文化を学び・実体験する事でより自国の文化を理解し、その上で異文化を尊重する心を育みます。

◆体験型学習…「本物の実力＝さまざまな角度から思考する力」の基盤作りの機会を提供します。

海外や社会に出ると、答えのない課題に直面します。そのような場合に自分で考えて対処できる能力が重要と考えます。

平成28年度は「実在の企業から出されたミッションの答えを自分たちならではの視点から探究し、プレゼンテーションをする」QUEST(クエスト)に挑戦、全国大会出場を果たしました。

また、少人数制で先生の生徒一人一人に対するフォロー体制ができている事も本学の特色です。

放課後や土曜日には得意分野を伸ばし苦手分野を克服するためにさまざまな講座を開講しています。

**Q: 高校とのつながりはどうなりますか**

**A:** 中学特別進学コースの生徒は高校特別進学コースに内部進学できます。

中学進学スポーツコースの生徒は高校進学スポーツコースに内部進学できます。

ただし、桐生第一高校の他の科・コースへの内部進学も可能です。

**Q: 高校の進学実績はどのようになっていますか**

**A:** 桐生第一高校特別進学クラスの過去8年の主な進学実績は以下の通りです。

国公立大学合格率約 60%！！

【国公立大学】

北海道大学 東北大学 筑波大学 お茶ノ水女子大学 東京外国語大学 東京学芸大学 東京農工大学  
千葉大学 横浜国立大学 大阪大学 金沢大学 群馬大学 高崎経済大学 県立女子大学 県民健康科学大  
学 他

【私立大学】

早稲田大学 慶應大学 上智大学 東京理科大学 明治大学 青山学院大学 立教大学 中央大学 法政大  
学 学習院大学 他

**Q: 放課後や土曜日の講座制授業はどのように行っていますか**

**A:** 正規の授業時間としては行っていません。現在、放課後は火曜日・木曜日に1コマずつ、土曜日は3コマ実施しています。必修講座が中心ですが、教科担任が開設する講座に生徒が自ら進んで受講する希望制講座や教科担任から受講を勧める指名制講座などを準備して実施していく予定です。

**Q: 長期休業中の講座制授業はどのように行われますか**

**A:** 夏休みは前期講座（7月末まで）、後期講座（8月後半）の午前中に必修の講座制授業（英・数・国中心）、午後は希望制の講座制授業を予定しています。冬休みは年末約1週間、春休みは3月末まで約1週間で予定しています。

平成 29 年度より、特別進学コースは必修、進学 スポーツコースは希望制という形で講座を行う予定です。

※進学スポーツコースの講座制授業の考え方

学習指導を重視した進学スポーツコースを目指していることから、勉強が遅れている状況があれば、講座受講を優先することがあります

**Q: 学費について教えてください**

**A:** 入学時の学納金は 280,000 円、月々の経費は 36,700 円。

※月々の経費の中には各種教材費が含まれています。

※他に昼食費(6,000 円)と研修旅行費の積立(6,000 円)が月々の経費としてかかります。

※制服・運動着などの学用品代が入学時に必要となります。

**Q: 各種研修費用・教材費などはどれくらいかかりますか**

**A:** 基本的には月々の学納金の中から拠出していきます。ただ、各種研修費用や教材費が月々の学納金では不足する場合・模擬試験代など個別対応する必要がある場合は別途徴収していきます。

## 学校生活について

### Q:登校時間は何時ですか

A: 8:15 登校です。 ※校時表では8:30登校時間となっておりますが、実際には、朝学習が始まる8:15が登校時間と考えてください。

朝 7:00 に開門するので、朝早く登校して自学自習することができます。また、8:15 から必修形式で朝学習を実施する予定です。

### Q:下校時間は何時ですか

A:基本的に18:30完全下校です。

### Q:太田方面から登下校はできますか

A:平成 29 年度 4 月より、新桐生駅～学校(西桐生キャンパス)間でスクールバスを運行する予定です。

登校時 新桐生駅発 7:35⇒桐生大学附属中学校 7:50 経由⇒桐生第一高校本校舎 7:55

☆朝学習に対応しています。

下校時 桐生第一高校本校舎発 18:55⇒桐生大学附属中学校経由 19:00⇒新桐生駅着 19:20

(東武線太田方面 19:33)

☆学校で宿題を済ませて帰宅することができます。

※但し、土曜日、長期休業中の講座授業には対応していません。

### Q:規則や校則は厳しいですか

A:桐生大学附属中学生としての心得は設けています。中学生らしい頭髪や服装、下校時はまっすぐ家に帰ること、授業に不必要なものは校内に持ち込まないことなど、基本的な内容です。自律・自立を高める教育を最優先に考えているので、善悪の判断などは自分で考えていくよう指導しています。

### Q:携帯電話の取り扱いはどうにしていますか。

A:携帯電話を学校に持ってくることは原則禁止しています。

### Q:給食はありますか

A:完全給食制となります。(平成 29 年度より) 若年期は豊かで健全な味覚の形成に大切な時期であり、栄養教育に価値を置く本学においては食育を重視していきたいと考えています。管理栄養士を中心に専門家が栄養バランスを考えた献立表を作成するなど、今まで以上に栄養指導を充実していきます。また、昨今は女性の活躍が目覚ましく共働きの家庭も多いため母親の負担が増大していると考えられます。その負担を少しでも軽減できればと考えております。

**Q: 部活動はありますか**

**A:** 希望する生徒にはクラブ活動として様々な選択肢があります。視野を広げることも目的の一つであります。いくつかのクラブ活動に参加できるため、幅広い取り組みができます。

クラブ活動例; ロボコン、英語コミュニケーション、ダンス、音楽、フットサル など

平成 29 年度より、進学スポーツコースにおいてサッカー部(男子)が新設されました。

**Q: 桐生大学附属中学独自のイベントはありますか**

**A:** 英語スピーチコンテストや百人一首大会といったイベントを実施しております。

イベント例: 英語暗唱コンテスト、英語スピーチコンテスト、百人一首大会、強歩大会、スポーツ大会、スキー教室、芸術鑑賞会(劇団四季)

**Q: 修学旅行はどこへいきますか**

**A:** 平成 29 年度より、国内研修旅行を実施しています。

中学では日本文化を理解することを大切にしていることから国内研修旅行とします。

高校では日本の文化を理解した上で、異文化理解をするという目的で海外研修旅行を実施する予定です。

## 入学試験について

**Q: 募集人数は何人ですか**

**A: 定員 30 名(男女)**

特別進学コース(男女)

進学スポーツコース(男子サッカー)

※上記 2 コース合わせて 30 名程度を募集します。

**Q: 入学試験の科目と内容について教えてください**

**A:**

推薦入試

☆作文

☆面接(個人)本人および保護者

☆書類選考

\* 進学スポーツコースは、面接終了後、実技試験(サッカー)を実施します。

一般入試

☆記述試験 国語、算数 ※第 2 期入試は国語の代わりに英語でも受験ができます。

☆面接(個人)本人および保護者

☆書類選考

\* 進学スポーツコースは、面接終了後、実技試験(サッカー)を実施します。」

○ 推薦入試内容

I 作文について

◎400 字～600 字程度の作文とします。

II 面接について

◎ 保護者と児童に対してそれぞれ実施します。

◎ 本校の教育方針に適しているかを見ます。具体的にはチームによる活動(集団生活適応能力)や朝の授業や講座制授業などの学習活動に適応できるかを見ます。

◎ 現時点での進路希望について確認します。大学進学を視野に入れていることも確認します。

◎ 進学スポーツコース希望者は学習とスポーツとの両立ができるか否かを見ます。

III. 実技試験について

◎進学スポーツコースを受験する児童は、実技試験(サッカー)があります。

\*ドリブル・パス・シュートなど基礎技術を見ます。

## ○ 一般入試内容

### I. 学科試験について

- ◎ 国語と算数の2科目です。基礎基本を大切にすると問題とします。(小学校5、6年で習う内容を中心に出題します。)
- ◎ 語学力を重視することから、国語の試験に作文を含めます。中学で語学力強化の授業などへの適性も見ます。
- ◎ 第2期入試は国語の代わりに英語で受験することができます。英検3級程度の問題とします。リスニングはありません。

### II. 面接について

- ◎ 保護者と児童に対してそれぞれ実施します。
- ◎ 本校の教育方針に適しているかを見ます。具体的にはチームによる活動(集団生活適応能力)や朝の授業や講座制授業などの学習活動に適応できるかを見ます。
- ◎ 現時点での進路希望について確認します。大学進学を視野に入れていることも確認します。
- ◎ 進学スポーツコース希望者は学習とスポーツとの両立ができるか否かを見ます。

### III. 実技試験について

- ◎ 進学スポーツコースを受験する児童は、実技試験(サッカー)があります。  
\*ドリブル・パス・シュートなど基礎技術を見ます。

## Q: 面接試験ではどのような内容の対話を行いますか

A: 本校を受験した理由、将来の目標、趣味・特技、普通の学校生活や家庭での生活、勉強の仕方など、一般的な質問をします。

## Q: 受験に必要な提出物は何が必要でしょうか

A: 生徒募集要項の内容を抜粋します。

### 推薦入試

- (1) 入学願書・副票・受験票・・・本校所定の用紙(写真・受験料払込票を添付)
- (2) 推薦書・・・下記①～③のいずれかの推薦書(すべて本校所定の用紙)
  - ① 出身小学校長が作成した推薦書
  - ② スポーツ団体の責任者が作成した推薦書 \* 進学スポーツコースに出願する者のみ
  - ③ 自己推薦をする場合は自己推薦書
- (3) 面接調査票・・・本校所定の用紙
- (4) 通知票の写し(第5, 6学年次の表・裏すべて)
- (5) 受験票返信封筒

### 一般入試

- (1) 入学願書・副票・受験票・・・本校所定の用紙(写真・受験料払込票を添付)
- (2) 通知票の写し(第6学年次の表・裏すべて)
- (3) 面接調査票・・・本校所定の用紙
- (4) 受験票返信封筒

**Q:** H30 年度入学試験の日程を教えてください

**A:** 生徒募集要項の内容を記載します。

第 1 期入試(推薦・一般):平成 29 年 11 月 18 日(土)

第 2 期入試(推薦・一般):平成 29 年 12 月 16 日(土)

第 3 期入試(一般):平成 30 年 2 月 3 日(土)

**Q:** 願書やパンフレットはどのように入手したらいいでしょうか

**A:** 郵送とご来校で対応させていただきます。

こちらのフォームに入力いただき、送信ボタンを押してください。

**Q:** 過去問はどのように入手したらよろしいですか

**A:** 学校説明会などのイベントやご請求に応じて配布しております。



## 進学スポーツコースについて

**Q: 進学スポーツコースを受験する場合、実技試験はありますか**

**A:** 専門試験(サッカー)があります。

**Q: 指導者はどのような先生が担当のでしょうか**

**A:** 数々のJリーガーを輩出した 小林 勉さんです。

### 小林勉 総監督 の略歴

1986年 前橋ジュニア 創設

1997年 前橋ジュニアユース 創設

2002年 桐生第一高等学校総監督就任

2011年 全国高校サッカー選手権大会初出場ベスト8

2017年 桐生大学附属中学校監督就任

★日本サッカー協会 A級ライセンス取得

★プロ選手を多数輩出

・細貝 萌 現ヘルタ・ベルリン

・青木 剛 鹿島アントラーズ

・鈴木武蔵 アルビレックス新潟

**Q: 進学スポーツコースを受験希望していますが、サッカーのレベルはどの程度あれば大丈夫ですか**

**A:** サッカーが大好きでやる気のある人を求めています。ただ、ドリブル、パス、シュートなどの基本技術は最低でも必要です。

**Q: 特別進学コースとの授業内容に違いはありますか**

**A:** 教育課程に違いはありません。英語・数学などは特別進学コースと混合習熟度別授業を行う予定です。

ただし、放課後や土曜日、長期休業中の講座制授業は、部活がある場合は参加ができません。

**Q: 学業とスポーツのどちらに重みを置いたカリキュラムなのでしょうか**

**A:** 文武両道の立場から、進学スポーツコースの生徒たちは、学業をしっかりと行いながらスポーツでも活躍することを目指しています。教育カリキュラムは基本特別進学コースと同じです。

**Q: スポーツを伸ばしたいのですが、学業レベルについていけるか不安なのですが**

**A:** 本人のやる気次第です。授業をしっかりと聞くこと、宿題をきちんと提出することなど基本的な学習に対する習慣を身に付けていれば問題はありません。また、本校はきめ細かなフォローが特徴ですので心配は不要と考えています。

**Q: 進学スポーツコースでは具体的にどのようなスポーツ競技を学ぶのでしょうか**

**A:** サッカー部として全国大会を目指します。又、6カ年一貫教育の利点を生かし桐生第一高校サッカー部と連携をとり、実力次第で、中学在学中から桐生第一高校サッカー部にメンバー登録し、県リーグ出場も可能になります。

**Q: 進学スポーツコースの一日の流れを教えてください**

**A:** 朝学習から始まり7限の授業を受けたのち、宿題を学校内で終わらせます。放課後、週に2回は本校での体幹トレーニングを中心とした練習、週に2回はバス送迎で桐生大学人工芝グラウンドへ行きトレーニングを行います。月曜日はミーティングかオフ、週末公式戦及び練習試合を行います。

**Q: 桐生第一高校進学時はどのコースに進む事となるのでしょうか**

**A:** 進学スポーツコースに内部進学します。中学時代に学業に専念するなど進路変更がある場合は、特別進学コースなどへの進学も可能です。

**Q: 高校卒業後の想定される進路は**

**A:** 国公立大学並びに明治大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、法政大学などいわゆる(MARCH)レベルの大学合格を目指します。

**Q: 遠征費やユニフォームなどの費用は**

**A:** 年に数回の遠征・合宿などにもなう宿泊費がかかります。(1泊約9,000円)  
遠征のためのバス費用、グラウンド使用料、大会参加費は学校負担となります。  
ユニフォームやシューズなどは個人負担となります。

**Q: 理念を教えてください。**

**A:** 教育理念のもと、「スポーツ」と「勉強」の両立を目指し、人間として尊敬されるスポーツマンの育成です。

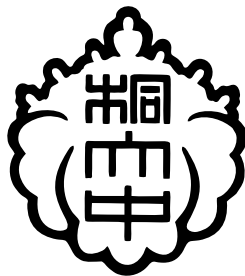
**Q: 高校は外部を受験することができますか**

**A:** 進学スポーツコースへの内部進学が原則ですが、本人の適性や希望により特別進学コースへの内部進学や外部受験を含めて進路指導をしていきますので安心してください。

**Q: 怪我をしましてサッカーを続けられない場合はどうなりますか？**

**A:** 特別進学コースと進学スポーツコースのカリキュラムは同じですので、中学3年間は問題なく学校生活を送ることが出来ます。





学校法人 桐丘学園

## 桐生大学附属中学校

群馬県桐生市小曾根町9番17号

TEL 0277-48-8600 FAX 0277-20-7465

<http://jhs.kiryu-u.ac.jp>